

資料



1. 書面調査の調査票

1.1 看護師向け調査票

平成 24 年度看護職員確保対策特別事業 EPA 看護師に関する調査事業
看護師向け調査票

社団法人 国際厚生事業団

受入れ施設名	
氏名	

- この調査票は、看護師として働いているみなさんの抱えている困難や問題について現状を把握することを目的としています。
- あなたが働いている施設名やあなたの名前などは公表しません。答えの内容によって、あなたの施設及びあなた自身に不利益となることはありませんので正直な回答をお願いします。
- 調査に協力をしてくださる方は、調査票に答えを記入し、添付の封筒に入れて直接 JICWELS に郵送してください。もし協力しなくても不利益を受けることはありません。
- この調査は、記入日の自分の状況についてお答えください。
- 記入は一文字ずつ、なるべくきれいに書いてください。

記入日:西暦 _____ 年 ____ 月 ____ 日

質問 1

質問 1 では、看護の場面の日本語コミュニケーションで何が難しいかを聞きます。

次の (1) ~ (4) のそれぞれの質問に対して、以下の基準に沿って該当する番号、あるいは、文字に○をつけてください。

選択肢	基準
4 =	できる (ここでは、日本人看護師もコミュニケーションに困るような場面は考えないでください)
3 =	だいたいできる
2 =	できるときもある
1 =	できない
ない =	このような場面はない

※用語の操作的定義（この調査票の単語は次のような意味で使用します。）

申し送り：勤務交代のときに担当した患者の病状や変化を次の勤務担当者に伝達する業務。

または、手術室や病棟、急患室（ER）、外来（OPD）などの間で患者を移動するときに行う情報伝達の業務。

看護記録：アナムネ（入院時記録）や経過記録、看護計画、看護計画評価、褥瘡評価表、栄養評価表などを含む看護に関して書いた記録。

(1) 看護の場面（「聞く」）について質問します。

以下について <u>聞く</u> 理解することができますか	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
1 患者との趣味や生活、家族の話などの日常会話	4	3	2	1	ない
2 患者の自覚症状に関する訴えの内容	4	3	2	1	ない
3 病院や所属部署のカンファレンスの内容	4	3	2	1	ない
4 病院や所属部署の申し送りの内容	4	3	2	1	ない
5 病院内・外で行われる看護の知識・技術に関する研修の内容	4	3	2	1	ない
6 先輩や教育担当の看護師の指導内容	4	3	2	1	ない
7 患者に関する看護師どうしの情報交換の内容	4	3	2	1	ない
8 患者の家族からの看護に関する要望や希望の内容	4	3	2	1	ない
9 患者や家族からの、治療や看護に関する質問内容	4	3	2	1	ない
10 仕事相手からの電話で相手の言っていること	4	3	2	1	ない
11 ナースコールで患者の言っていること	4	3	2	1	ない
12 医師や理学療法士など、他の医療専門職からの患者に関する情報の内容	4	3	2	1	ない
13 患者から頼まれた身の回りのこと（例：水を取って欲しいなど）	4	3	2	1	ない
14 医師の処置介助をしているときの医師からの指示	4	3	2	1	ない
15 患者のケアを先輩看護師と一緒にしているときの先輩看護師の指示	4	3	2	1	ない

あなたが「聞く」ことについて、普段から難しいと感じていることがあったら具体的に書いて下さい。

()

(2) 看護の場面（読む）について質問します。

以下について <u>読んで</u> 内容を理解することができますか	できる	だいたい できる	できると きもある	でき ない	ない
1 手書きの（ペンで書いた）処方箋や指示書	4	3	2	1	ない
2 電子カルテ上の処方や指示書	4	3	2	1	ない
3 手書きの看護記録	4	3	2	1	ない
4 電子カルテに記載されている看護記録	4	3	2	1	ない
5 筆談による患者の訴えや要望	4	3	2	1	ない
6 他の病院からの看護サマリー（看護要約）	4	3	2	1	ない
7 基礎的な看護の技術や知識に関する専門書	4	3	2	1	ない
8 自分の専門領域の看護専門書・雑誌	4	3	2	1	ない
9 薬の説明書や薬辞典	4	3	2	1	ない
10 仕事相手から受信したメール	4	3	2	1	ない
11 医療機器のパフレット	4	3	2	1	ない
12 同僚からもらった業務に関する簡単なメモ	4	3	2	1	ない
13 自分の部署のマニュアル	4	3	2	1	ない
14 患者のベッドサイドなどに貼ってある、看護師ど うしが使うメッセージや注意事項	4	3	2	1	ない
15 ナースステーション内のボードなどに書かれた業 務予定や連絡事項	4	3	2	1	ない

あなたが「読む」ことについて、普段から難しいと感じていることがあったら具体的に書いてくだ
さい。

(3) 看護の場面（話す）について質問します。

以下について <u>話す</u> ことができますか	できる	だいたい できる	できると きもある	でき ない	ない
1 患者と話す日常的な話題（趣味や家族のこと）についての会話	4	3	2	1	ない
2 患者や患者の家族の希望を聞いて、ケアの時間を決めること	4	3	2	1	ない
3 決まった内容の電話での業務連絡	4	3	2	1	ない
4 患者に対して行われている治療や看護のことについて、話す準備をして患者や患者の家族に説明すること	4	3	2	1	ない
5 患者や家族に、これから自分が行おうとしている看護ケアについて説明すること	4	3	2	1	ない
6 病院や所属部署で申し送りをすること	4	3	2	1	ない
7 患者に関する看護師どうしの情報のやりとり	4	3	2	1	ない
8 患者の状態の変化に関することの医師や上司への報告をすること	4	3	2	1	ない
9 相手や状況に合わせて、丁寧な言い方とくだけた言い方(友達と話すような)を使い分けること	4	3	2	1	ない
10 久しぶりにお見舞いに来た患者の家族などに、最近の患者の状態について説明すること	4	3	2	1	ない
11 患者の急変の報告や診察の依頼を、医師に電話で連絡すること	4	3	2	1	ない
12 患者や患者の家族に質問して患者の状態に関する情報収集をすること	4	3	2	1	ない
13 患者にリハビリや検査の時間を伝えること	4	3	2	1	ない
14 医師や理学療法士など、他の医療専門職からの患者についての質問に対して答えること	4	3	2	1	ない
15 病院や所属部署のカンファレンスで、自分の意見を言うこと	4	3	2	1	ない
16 インシデント（ヒヤリ・ハット）が生じたときに、先輩看護師や上司に何が起きたかを報告すること	4	3	2	1	ない

あなたが「話す」ことについて、普段から難しいと感じていることがあったら具体的に書いてください。

(4) 看護の場面（書く）について質問します。

以下について書くことができますか	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
1 筆談で会話をする	4	3	2	1	ない
2 看護記録	4	3	2	1	ない
3 看護サマリー（看護要約）	4	3	2	1	ない
4 先輩看護師や同僚に、用件を伝える簡単なメモ	4	3	2	1	ない
5 インシデントレポート（ヒヤリ・ハット）	4	3	2	1	ない
6 体温表	4	3	2	1	ない
7 病院の研修などで出された宿題やレポート	4	3	2	1	ない
8 自分の部署の連絡事項などを記載しているノートへの必要事項	4	3	2	1	ない
9 自分のシフトの間に行う看護業務の予定	4	3	2	1	ない
10 患者および家族への看護計画同意書の作成	4	3	2	1	ない

あなたが「書く」ことについて、普段から難しいと感じていることがあったら具体的に書いてください。

質問2 看護師として働き始めた後、どのようにして勉強を続けていますか。

【複数回答可】

- 1 OJT (On the Job Training)
- 2 病院の提供する集合研修を受講
- 3 母国の看護専門書・専門雑誌を使用
- 4 日本の看護専門書・専門雑誌を使用
- 5 国家試験の学習の際に使用した教材を使用
- 6 民間で提供している看護師向け講座の受講
- 7 その他（具体的に： _____)

質問3 看護師として働き始めた後、どのように日本語の勉強を続けていますか。

【複数回答可】

- 1 病院の支援による日本語教師等の指導や日本語学校への通学
- 2 友人から、あるいは支援団体などからの日本語学習支援
- 3 個人的に日本語学校等に通っている
- 4 テレビ講座・ラジオ講座などを利用している
- 5 候補者のころに使用していた教材を使用
- 6 日本語の学習をする時間の余裕はない
- 7 その他（具体的に： _____)

質問4 日本の文化を理解するために心がけていることはありますか。

【複数回答可】

- 1 地域の知人を増やすようにしている
- 2 地域の行事などに参加している
- 3 日本の社会・文化に関する本などを読んでいる
- 4 支援団体等の企画に参加している
- 5 特に心がけていない
- 6 その他（具体的に： _____)

質問5 現在日本語能力試験の認定を受けていますか。

- 1 はい→認定を受けた（合格した）級を選んでください。
（ N1・N2・N3・N4・N5 / 旧 級）
（認定を受けた（合格した）年・月： _____ 年 _____ 月）
- 2 いいえ

調査票は次頁に続きます。

質問6 EPA 看護師が日本で看護師として働きつづけるために、必要なことは何だと思いますか。自分の経験をもとに、それぞれの項目についてなるべくたくさん書いて下さい。

- (1) EPA 看護師が日本で看護師として働き続けるために必要な支援は何だと思いますか。現在受けている支援や日本で看護師になる前の支援、あるいは、あったらよかったと思う支援について記載してください。

記載例：看護師になる前からもっと書く練習ができればよかった。書くことを教えてくれる先生がいたらよかった、など。

- (2) 日本で看護師として働き始めるまでの経験で、現在役に立っていることはありますか。

記載例：今、日本で看護師をする上で、母国での看護教育が役立っている、など。

質問 7 「看護職員として必要な基本姿勢と態度」、「看護技術」、「管理的側面」について、それぞれ母国での（実践）状況を、別紙の記入用紙 1～3 の状況記載例にならって回答欄にお答えください。

別紙 1～3 は次頁に続きます。

質問は以上です、ご協力ありがとうございました。

〈本調査票に関するお問い合わせ〉

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 2-3-20 虎ノ門 YHK ビル 4 階

(社) 国際厚生事業団 受入支援部

「EPA 看護師に関する調査事業」担当者

TEL : 03-6206-1138

1.2 看護師向け調査票別紙
 (看護職員として必要な「基本姿勢と態度」「看護技術」「管理的側面」)

1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度についての母国での状況		別添 1
		母国での実務状況記載例 1: 母国で実務していた 2: 母国では実務する機会がなかった 3: 母国では看護師の実務する技術/業務ではない 【回答欄】
	①経済倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護する	
	②看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	
	③職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	
	④患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	
	⑤患者を一人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	
	⑥患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	
	⑦家族の意向を把握し、家族にしか抱えない役割を判断し支援する	
	⑧守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	
	⑨看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する	
	⑩病院及び看護部の理念を理解し行動する	
	⑪病院及び看護部の組織と機能について理解する	
	⑫チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	
	⑬同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる	
	⑭自己評価及び他者評価を踏まえ自己の学習課題をみつける	
	⑮課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	
	⑯学習の成果を自らの看護実践に活用する	
看護職員としての自覚と責任ある行動		
患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立		
組織における役割・心構えの理解と適切な行動		
生涯にわたる主体的な自己学習の継続		

【1.2 看護師向け調査票別紙】

2. 看護技術についての母国での実務状況		別紙 2	
※患者への看護技術の実用においては、高度な又は複雑な看護を必要とする場合は新卒、比較的狀態の安定した患者の看護を想定している。			
母国での実務状況の概況 1：得意で実践していた 2：得意では実践する機会がなかった 3：得意では看護実践の実績がある技術/業務ではない			
看護技術	(回答例)	(回答例)	(回答例)
呼吸器看護技術	①呼吸器、呼吸器検査、吸気、呼吸器、換気装置の構造 ②患者の状態観察(呼吸状態、血圧、呼吸音、呼吸音等)の観察 ③パッドメーカー(例:呼吸器のパッドメーカー)	①酸素吸入法 ②吸引(気管内、口腔内、鼻腔内) ③サブライザーの英語 ④体位調整 ⑤体位ドレーズ ⑥人工呼吸器の管理	①バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈 ②身体計画 ③静脈血と検体の取扱い ④動脈血と検体の取扱い ⑤採尿、尿検査の方法と検体の取扱い ⑥心電図モニター・12誘導心電図の読取、管理 ⑦パルスオキシメーターによる測定
食事援助技術	①食事支援 ②体位調整 ③経管栄養法 ④自然排便・排泄補助(薬物・便器介助、可動式トイレの活用) ⑤排泄補助(排便補助器の活用) ⑥排便補助器の管理	①経管栄養 ②排泄の予防 ③排泄法 ④経口薬の与薬、外用薬の与薬、回腸内与薬 ⑤皮下注射、筋内注射、皮内注射 ⑥筋内注射、点滴静脈注射 ⑦中心静脈注射の準備・介助・管理 ⑧输液ポンプの準備と管理 ⑨輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	①経管栄養と検体の取扱い ②心電図モニター・12誘導心電図の読取、管理 ③パルスオキシメーターによる測定 ④尿管の挿入・固定 ⑤経法等身体安楽処置ケア ⑥リフトレーション ⑦精神安定薬を採つための看護ケア ⑧スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施 ⑨必要に応じ器具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択 ⑩無菌操作の実施 ⑪経腸栄養剤の投与に適切な取扱い ⑫針刺し事故防止の実施と針刺し事故後の処置 ⑬洗浄・消毒・滅菌の適切な選択 ⑭誤嚥防止の手順に沿った与薬 ⑮患者の状態観察と看護の実施
排泄補助技術	①膀胱内留置カテーテルの挿入と管理 ②排尿 ③尿管 ④歩行介助・移動の介助・移送 ⑤体位調整(例:①及び②について、手荷役、車輪等での移動) ⑥制動補助訓練・車内移動練習	①尿管の挿入、尿道内挿入、尿道内挿入 ②尿道内挿入、尿道内挿入 ③制動補助訓練、尿道内挿入 ④中心静脈注射の準備・介助・管理 ⑤输液ポンプの準備と管理 ⑥輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	①尿管の挿入・固定 ②経法等身体安楽処置ケア ③リフトレーション ④精神安定薬を採つための看護ケア ⑤スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施 ⑥必要に応じ器具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択 ⑦無菌操作の実施 ⑧経腸栄養剤の投与に適切な取扱い ⑨針刺し事故防止の実施と針刺し事故後の処置 ⑩洗浄・消毒・滅菌の適切な選択 ⑪誤嚥防止の手順に沿った与薬 ⑫患者の状態観察と看護の実施
活動・休息援助技術	④入院・退院への援助 ⑤移動・移動が必要となる患者への援助(例:不潔、不衛生な環境、搬送への対応、車中、乳幼児、高齢者への援助) ⑥介護 ⑦介護	④入院・退院への援助 ⑤移動・移動が必要となる患者への援助(例:不潔、不衛生な環境、搬送への対応、車中、乳幼児、高齢者への援助)	④入院・退院への援助 ⑤移動・移動が必要となる患者への援助(例:不潔、不衛生な環境、搬送への対応、車中、乳幼児、高齢者への援助)
清潔・衣生活援助技術	④入院・退院への援助 ⑤移動・移動が必要となる患者への援助(例:不潔、不衛生な環境、搬送への対応、車中、乳幼児、高齢者への援助) ⑥介護 ⑦介護 ⑧生活支援 ⑨生活支援 ⑩生活支援 ⑪生活支援 ⑫生活支援	④入院・退院への援助 ⑤移動・移動が必要となる患者への援助(例:不潔、不衛生な環境、搬送への対応、車中、乳幼児、高齢者への援助)	④入院・退院への援助 ⑤移動・移動が必要となる患者への援助(例:不潔、不衛生な環境、搬送への対応、車中、乳幼児、高齢者への援助)
⑬他の看護技術 ⑭他の看護技術 ⑮他の看護技術 ⑯他の看護技術 ⑰他の看護技術 ⑱他の看護技術 ⑲他の看護技術 ⑳他の看護技術 ㉑他の看護技術			
⑳チームメンバーへの指導と助言			

【1.2 看護師向け調査票別紙】

3. 管理的側面についての母国での状況

別紙 3

母国での実施状況別紙例 1: 母国で実施していた 2: 母国では実施する機会がなかった 3: 母国では看護師の実践する技術/業務ではない 【回答欄】	
安全管理	①施設における医療安全管理体制について理解する
	②インシデント（ヒヤリ・ハット）事例や事故事例の報告を速やかに行う
	①施設内の医療情報に関する規定を理解する
	②患者等に対し、適切な情報提供を行う
情報管理	③プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う
	④看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する
	①業務の基準・手順に沿って実施する
	②複数の患者の看護ケアの優先度を考え実行する
業務管理	③業務上の報告・連絡・相談を適切に行う
	④決められた業務を時間内に実施できるように調整する
	①薬剤を適切に請求・受領・保管する（言、処置・制薬・麻薬）
	②血液製剤を適切に請求・受領・保管する
薬剤等の管理	①定期的な防災訓練に参加し、災害発生時（地震・火災・水害・停電等）には決められた初期行動を円滑に実施する
	②施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する
災害・防災管理	①規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う
	②看護用品・衛生材料の整備・点検を行う
物品管理	①患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する
	②費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する
コスト管理	

【1.3 看護管理者・指導者向け調査票】

1.3 看護管理者・指導者向け調査票

平成 24 年度看護職員確保対策特別事業 EPA 看護師に関する調査事業
看護管理者・EPA 看護師指導者向け調査票

社団法人 国際厚生事業団

1. 本調査票は、看護師として働いているEPA看護師及び就業施設の看護師、医療関係者の抱えている困難や問題について現状を把握することを目的としています。
2. 回答は統計的に扱いますので個別施設名や個人名等は公表いたしません。この調査への回答の有無、及びその内容によって、貴施設及び個人に不利益となることはありませんので率直な御回答をお願いいたします。
3. 回答にご協力いただける場合は、記載の後、添付の封筒で JICWELS に郵送して下さるようお願いいたします。調査の結果は本事業の検討会による「平成 24 年度看護職員確保対策特別事業 EPA 看護師に関する調査事業報告書」をもってご報告いたします。
4. 本調査票は、就労している EPA 看護師（以下、「当該看護師」）ごとにご回答ください。

記入日：西暦 年 月 日

受入れ施設名	
当該看護師名	
看護管理者職位	看護部長・その他（ ）
当該看護師の直接の指導者職位	看護師長・その他（ ）
当該看護師との関係	所属先の師長 ・フリップター ・その他：
当該看護師への指導歴	西暦 年 月 ～西暦 年 月

当該看護師の配属先 （該当する箇所には○をつけてください）

<input type="checkbox"/>	療養病棟	<input type="checkbox"/>	急性期病棟	<input type="checkbox"/>	ICU/HCU等
<input type="checkbox"/>	回復期・リハビリテーション病棟			<input type="checkbox"/>	小児病棟
<input type="checkbox"/>	産科病棟	<input type="checkbox"/>	救急外来	<input type="checkbox"/>	外来
<input type="checkbox"/>	透析室	<input type="checkbox"/>	その他（ ）		

【看護管理者向け】

質問 1 当該看護師の現在の配属先を決めた理由は何ですか。

例：日本語が十分にできないため、患者との言語的コミュニケーションをあまり必要としない手術室に配属とした、など。

自由記述：

[]

質問 2 当該看護師の免許取得後、当該看護師を新人看護職員研修の対象者として、現任教育を行っていますか。

(はい ・ いいえ)

「いいえ」と回答した場合は、その理由をお書きください。

[]

質問 3 質問 2 で「はい」と回答した理由についてお聞きします。

①新人看護師研修の内容はどのようなものですか。

(記入例：記録・コミュニケーション・医療安全等)

院内集合研修：

[]

部署別研修：

[]

院外研修：

[]

その他：

[]

【1.3 看護管理者・指導者向け調査票】

②日本人の新人看護師に提供している研修体制に加えて、当該看護師のために特別に整えた研修体制などがありますか。具体的な期間なども併せて記述してください。

例：免許取得後、病院の費用で週1回日本語学校に通学しており、現在も継続している。

当院のプリセプター期間は一般に6ヶ月であるが、当該看護師のプリセプター期間は更に6ヶ月延ばし、1年間とした、など。

具体的に：

()

調査票は次頁に続きます。当該看護師の直接の教育指導者が記入してください。

【当該看護師教育指導者向け】

質問4 ご回答日現在、当該看護師を指導する上で、日本人新人看護師（看護師免許を取得後初めて就業する者）を指導する場合と違い、特別に配慮を要する点があれば記述してください。【複数回答可】

- 1 看護業務を指導するにあたってゆっくり話して説明するなどのコミュニケーション上の配慮を要する。
- 2 看護業務だけでなく、看護業務上必要となる日本語（看護記録を記載するに当たっての日本語など）についても指導する必要があるため、日本語指導なども含めて指導している。
- 3 当該看護師が母国で経験してきた看護（手技など）と日本の看護の実践方法が異なり、その違いを理解し、実践できるようにするなど指導上特別な配慮を要する。
- 4 当該看護師が母国で学んできた看護教育の内容が違うため、（日本の看護教育を受けてきた者との）看護実践能力の差が大きく、指導上特別な配慮を要する。
- 5 当該看護師の育ってきた社会・文化的な背景が異なるため、看護を提供する上で必要となる日本の社会・文化についての知識について指導している。
- 6 その他（具体的に）
〔

〕
- 7 当該看護師を指導する上で、特別に配慮することはない。

上記で選択したことについて、具体的なエピソードなどがありましたら以下に記述してください。

質問5 当該看護師を指導する上で、困っている事や悩んでいる事がありましたら以下に記述してください。

質問6 当該看護師を指導する上で、指導者に対する特別な支援（国または国際厚生事業団による）が必要だと思いますか。

(1) (はい ・ いいえ)

(2) 「はい」と回答した場合は、以下にどのような支援が必要か、具体的に記述ください。

質問7 当該看護師を夜勤シフトに組み入れていますか。

(1) (はい ・ いいえ)

(2) 「はい」と回答した場合にお答えください。

①当該看護師を就業開始後何カ月で夜勤シフトに組み入れましたか。

() か月)

②当該看護師の就業する部署の日本人新人看護師(看護師免許を取得し初めて就業する者)が夜勤シフトを始める時期は、就労開始後何か月が目安ですか。

() か月)

(3) 「いいえ」と回答した場合にお答えください。

当該看護師を夜勤シフトに組み入れていない理由は何ですか。

- 1 看護実践能力が十分ではないため、夜勤シフトに組み入れることができない。
- 2 以前は夜勤シフトに組み入れていたが、看護実践能力が十分ではないため、夜勤シフトには組み入れていない。
- 3 本人から夜勤は希望しない旨の申し入れがあった。
- 4 当該看護師の就業している部署では夜勤シフトはない。
- 5 その他（自由記述）

()

質問 8 「看護職員として必要な基本姿勢と態度」、「看護技術」、「管理的側面」について、それぞれの実践状況を、別紙 1～3 の状況記載例にならって回答欄にお答えください。

別紙 1～3 は次頁に続きます。

その他 ご意見、ご感想等お気づきの点がございましたら以下にご記入をお願い致します。

()

質問は以上です、ご協力ありがとうございました。

<本調査票に関するお問い合わせ>

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 2-3-20 虎ノ門 YHK ビル 4 階

(社) 国際厚生事業団 受入支援部

「EPA 看護師に関する調査事業」担当者

TEL : 03-6206-1138

1.4 看護管理者・指導者向け調査票別紙
 (看護職員として必要な「基本姿勢と態度」「看護技術」「管理的側面」)

1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標		別紙1			
看護職員としての自己と責任のある行動	① 看護倫理・看護管理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人格を認識する ② 患者行動によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する ③ 職人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する ④ 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する ⑤ 患者を一人として尊重し、空室期・非空室期で接する ⑥ 患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る ⑦ 患者の意向を把握し、緊急にしか抱えない危険を判断し対応する ⑧ 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する ⑨ 看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に届ける	(1) 国際看護認定時点のEPA5達成の到達状況	(2) EPA看護師の就業する部署で認定している新人看護師の1年目3月時点の到達の目安	(3) 現時点で到達目標に到達していない場合、その要因と取り組まれる項目の項目にのをつけてください。(他の要因もあろうかと感じますが、ここではEPA看護師側の要因として考えられるものを選択してください) (複数回答可)	回答欄
		到達状況別 1: できる 2: 指導の下でできる 3: できるがやらない 4: できない	到達の目安の区別 1: できる 2: 指導の下でできる 3: できない	外国で学んだあるいは経験した事象と日本の看護が異なるため	母国の看護業務経験では経験してこなかったため
看護の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立					
組織における役割・心構えの理解と適切な行動					
生涯にわたる主体的な自己学習の継続					

【1.4 看護管理者・指導者向け調査票別紙】

別紙2-1

2. 看護技術についての到達目標						
※看護への到達目標の測定においては、看護者は積極的な学習態度を示す場合は概ね、比較的的確に到達した事柄の到達率を算出している。						
到達目標	(1) 到達目標時点のEPA到達率の到達状況	(2) EPA到達率の到達する期で測定している前人員数等の到達率の到達率	(3) 現時点で到達目標に到達していない場合、その原因と思われる項目に○をつけてください。(他の原因もある場合は、ここではEPA到達目標の要因として考えられるものを選択してください)	母国で十分な教育を受けたことにより日本での実践に必要とする知識が十分なものがある	母国の看護実践経験で必要とした実践と日本の看護実践との差を埋めること	看護では必要とされていない
知識・技術	① 基礎知識 (例：解剖学、生理学、生化学、薬理学、看護学、病態生理学、看護学) ② ベッドメイキング (例：更衣室のベッドメイキング) ③ 患者のケア (例：患者の観察、問診、生活習慣、病状の評価、看護記録の作成、医師との連携) ④ 緊急時対応 (例：心肺蘇生法、気管挿入、気管吸引、気管挿入装置の操作) ⑤ 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 病室の巡回 (例：病室の巡回、患者の観察、看護記録の作成) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				
知識・技術	① 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理) ② 看護記録 (例：看護記録の作成、看護記録の整理)	到達率の到達率 1: できる 2: ほぼできる 3: ほぼできない 4: ほぼわからない 5: できない 6: わからない				

【1.4 看護管理者・指導者向け調査票別紙】

別紙2-3		(3) 現時点で当該目標に到達していない場合、その原因と取りかかっている項目をOをつけてください。 (他の原因もあるかと問いますが、ここでは印A質問事項の原因として考えられるものを記載してください) (複数回答可)						
(1) 当該目標達成のEPA等 現状の達成状況	(2) EPA達成時の状況する期 間で変更している新人看護師の 1年目3月時点の達成の目安 (複数回答可)	日本国籍が十分で ないため	母国で学んだあるいは 経験した事柄と日本の 看護が異なるため	母国の看護実践経験で は実践してこなかった ため	日本の社会・文化に何 する意識が十分なた め	研修では必要とされて いない	その他(自由記述)	
<p>①バイタルサイン (呼吸・脈拍・体温・血圧) の観察と解釈</p> <p>②身体計測</p> <p>③前脈血圧値と体位の取扱い</p> <p>④動脈血圧値の準備と体位の取扱い</p> <p>⑤呼吸・酸素濃度の測定と体位の取扱い</p> <p>⑥血圧測定法と体位の取扱い</p> <p>⑦心電図モニター・12誘導心電図の読解、管理</p> <p>⑧パルスオキシメーターによる測定</p>	<p>①達成の目安の取扱い 2: 対応できる 3: 対応できない 4: 対応してわかる 5: 対応してわからない 6: 対応していない</p>							
<p>①栄養と水分の摂取</p> <p>②薬法身体状態評価ア</p> <p>③リラクゼーション</p> <p>④精神的状態を察するための看護ケア</p> <p>⑤スタンダードフリップコネクション (標準予設) の実用</p> <p>⑥必要補助器具 (手袋、ゴーグル、ガウン等) の選択</p> <p>⑦無菌操作の実施</p> <p>⑧感染制御対策に当たった適切な取扱い</p> <p>⑨薬剤師と連携した薬剤の処方と計測し事後の対応</p> <p>⑩治療・処置・看護の適切な選択</p> <p>⑪処置防止の手順に当たった実務</p> <p>⑫患者状態の観察と処置</p> <p>⑬処置防止の準備</p> <p>⑭薬剤・処置の副作用防止の実施</p>								
<p>①病状・身体機能 状態の評価、安 楽確保の法</p>								
<p>①感染予防教育</p>								
<p>①安全確保の技術</p>								

【1.4 看護管理者・指導者向け調査票別紙】

3. 管理的側面についての到達目標		別紙3				
到達目標	(1) 到達目標達成のEPA等 履修の到達状況 到達状況の補綴 1: できる 2: 指導の下でできる 3: できるがやらない 4: できない	(2) EPA履修者の就業する部 で設定している新人看護師の 1年目3月時点の到達の目安 到達の目安の記載例 1: できる 2: 指導の下でできる 3: 設定していない	(3) 現時点で到達目標に到達していない場合、その要因と書かれる項目にOをつけてください。 (他の要因もあつらうめと書きますが、ここではEPA履修目標の要因として考えられるものを選択してください) (複数回答可)		その他自由記述	
			日本履修力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため		毎日の看護実践経験では実践力が不十分のため
安全管理	①施設における感染安全管理体制について理解する ②インシデント（ヒヤリ・ハット）事例や事故事例の報告を速やかに行う ③施設内の感染情報に即する規定を理解する ④患者に対し、適切な情報提供を行う ⑤プライバシーを保護して医療情報や記録を適切に扱う ⑥看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する ⑦薬物の処方・手帳に於いて実施する ⑧施設の緊急の連絡手段の運用を習得して行う ⑨業務上の報告・連絡・相談を適切に行う ⑩決められた業務を明確に実施できるように理解する					
業務管理	①業務を適切に請求・受領・保管する（薬、毒薬、劇薬・麻薬） ②血液製剤を適切に請求・受領・保管する ③定期的な研修に参加し、災害発生時（地震・火災・水害・停電等）には決められた初動行動を巧みに実施する ④施設内の消火設備の点検と避難ルートを把握し、発着に説明する ⑤病室に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う ⑥看護用品・衛生材料の準備・点検を行う ⑦患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する ⑧費用対効果を考慮して衛生材料の処分の方法を適切に選択する					
業務の管理						
災害・事故管理						
物品管理						
コスト管理						

2. 看護師向け書面調査「質問1」集計表

- * 集計上の留意事項：・未回答のある場面では回答数のみで集計した。
・年度別合格者は全体の再掲、国別人数は平成23年度合格者の再掲。

2.1 看護場面「聞く」について

表 2.1.1 場面1. 患者との趣味や生活、家族の話などの日常会話

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	9	25	9	0	1
		20.5%	56.8%	20.5%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	3	6	1	0	0
		30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	6	19	8	0	1
		17.6%	55.9%	23.5%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	4	17	3	0	0
		16.7%	70.8%	12.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	2	5	0	1
		20.0%	20.0%	50.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.2 場面2. 患者の自覚症状に関する訴えの内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	9	28	6	0	1
		20.5%	63.6%	13.6%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	3	7	0	0	0
		30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	6	21	6	0	1
		17.6%	61.8%	17.6%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	4	14	6	0	0
		16.7%	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	7	0	0	1
		20.0%	70.0%	0.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.3 場面3. 病院や所属部署のカンファレンスの内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	21	18	1	1
		6.8%	47.7%	40.9%	2.3%	2.3%
H22年度 合格者	10	1	7	2	0	0
		10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	2	14	16	1	1
		5.9%	41.2%	47.1%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	1	11	11	1	0
		4.2%	45.8%	45.8%	4.2%	0.0%
フィリピン	10	1	3	5	0	1
		10.0%	30.0%	50.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.4 場面4. 病院や所属部署の申し送りの内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	5	30	8	0	1
		11.4%	68.2%	18.2%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	2	8	0	0	0
		20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	3	22	8	0	1
		8.8%	64.7%	23.5%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	2	17	5	0	0
		8.3%	70.8%	20.8%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	5	3	0	1
		10.0%	50.0%	30.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.5 場面5. 病院内・外で行われる看護の知識・技術に関する研修の内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	4	25	12	0	3
		9.1%	56.8%	27.3%	0.0%	6.8%
H22年度 合格者	10	1	6	1	0	2
		10.0%	60.0%	10.0%	0.0%	20.0%
H23年度 合格者	34	3	19	11	0	1
		8.8%	55.9%	32.4%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	1	14	9	0	0
		4.2%	58.3%	37.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	5	2	0	1
		20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.6 場面6. 先輩や教育担当の看護師の指導内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	10	29	4	0	1
		22.7%	65.9%	9.1%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	5	5	0	0	0
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	5	24	4	0	1
		14.7%	70.6%	11.8%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	3	18	3	0	0
		12.5%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	6	1	0	1
		20.0%	60.0%	10.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.7 場面7. 患者に関する看護師どうしの情報交換の内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	9	26	8	0	1
		20.5%	59.1%	18.2%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	5	4	1	0	0
		50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	4	22	7	0	1
		11.8%	64.7%	20.6%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	2	16	6	0	0
		8.3%	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	6	1	0	1
		20.0%	60.0%	10.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.8 場面8. 患者の家族からの看護に関する要望や希望の内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	7	20	16	0	1
		15.9%	45.5%	36.4%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	2	6	2	0	0
		20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	5	14	14	0	1
		14.7%	41.2%	41.2%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	3	11	10	0	0
		12.5%	45.8%	41.7%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	3	4	0	1
		20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.9 場面 9. 患者や家族からの、治療や看護に関する質問内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	4	25	13	0	2
		9.1%	56.8%	29.5%	0.0%	4.5%
H22 年度 合格者	10	1	8	1	0	0
		10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	3	17	12	0	2
		8.8%	50.0%	35.3%	0.0%	5.9%
インドネシア	24	1	13	9	0	1
		4.2%	54.2%	37.5%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	2	4	3	0	1
		20.0%	40.0%	30.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.10 場面 10. 仕事相手からの電話で相手の言っていること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	16	22	1	2
		6.8%	36.4%	50.0%	2.3%	4.5%
H22 年度 合格者	10	1	6	2	0	1
		10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	2	10	20	1	1
		5.9%	29.4%	58.8%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	1	6	16	1	0
		4.2%	25.0%	66.7%	4.2%	0.0%
フィリピン	10	1	4	4	0	1
		10.0%	40.0%	40.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.11 場面 1 1. ナースコールで患者の言っていること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	10	25	7	0	2
		22.7%	56.8%	15.9%	0.0%	4.5%
H22 年度 合格者	10	5	4	0	0	1
		50.0%	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	5	21	7	0	1
		14.7%	61.8%	20.6%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	4	15	5	0	0
		16.7%	62.5%	20.8%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	6	2	0	1
		10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.12 場面 1 2. 医師や理学療法士など、他の医療専門職からの患者に関する情報の内容

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	7	16	20	0	1
		15.9%	36.4%	45.5%	0.0%	2.3%
H22 年度 合格者	10	3	3	4	0	0
		30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	4	13	16	0	1
		11.8%	38.2%	47.1%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	2	12	10	0	0
		8.3%	50.0%	41.7%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	1	6	0	1
		20.0%	10.0%	60.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.13 場面 1 3. 患者から頼まれた身の回りのこと

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	19	20	3	0	2
		43.2%	45.5%	6.8%	0.0%	4.5%
H22 年度 合格者	10	7	2	0	0	1
		70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	12	18	3	0	1
		35.3%	52.9%	8.8%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	8	13	3	0	0
		33.3%	54.2%	12.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	4	5	0	0	1
		40.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.14 場面 1 4. 医師の処置介助をしているときの医師からの指示

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	5	26	12	0	1
		11.4%	59.1%	27.3%	0.0%	2.3%
H22 年度 合格者	10	4	5	1	0	0
		40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	1	21	11	0	1
		2.9%	61.8%	32.4%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	0	16	8	0	0
		0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	5	3	0	1
		10.0%	50.0%	30.0%	0.0%	10.0%

表 2.1.15 場面15. 患者のケアを先輩看護師と一緒にしているときの先輩看護師の指示

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	14	26	3	0	1
		31.8%	59.1%	6.8%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	6	4	0	0	0
		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	8	22	3	0	1
		23.5%	64.7%	8.8%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	5	16	3	0	0
		20.8%	66.7%	12.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	3	6	0	0	1
		30.0%	60.0%	0.0%	0.0%	10.0%

2.2 看護場面「読む」について

表 2.2.1 場面1. 手書きの（ペンで書いた）処方箋や指示書

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	10	23	1	7
		6.8%	22.7%	52.3%	2.3%	15.9%
H22 年度 合格者	10	1	3	5	0	1
		10.0%	30.0%	50.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	2	7	18	1	6
		5.9%	20.6%	52.9%	2.9%	17.6%
インドネシア	24	1	4	14	0	5
		4.2%	16.7%	58.3%	0.0%	20.8%
フィリピン	10	1	3	4	1	1
		10.0%	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%

表 2.2.2 場面2. 電子カルテ上の処方や指示書

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	43	7	19	8	0	9
		16.3%	44.2%	18.6%	0.0%	20.9%
H22 年度 合格者	9	3	4	0	0	2
		33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%
H23 年度 合格者	34	4	15	8	0	7
		11.8%	44.1%	23.5%	0.0%	20.6%
インドネシア	24	3	12	7	0	2
		12.5%	50.0%	29.2%	0.0%	8.3%
フィリピン	10	1	3	1	0	5
		10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	50.0%

表 2.2.3 場面3. 手書きの看護記録

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	19	15	0	9
		2.3%	43.2%	34.1%	0.0%	20.5%
H22年度 合格者	10	0	9	0	0	1
		0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%
H23年度 合格者	34	1	10	15	0	8
		2.9%	29.4%	44.1%	0.0%	23.5%
インドネシア	24	0	8	9	0	7
		0.0%	33.3%	37.5%	0.0%	29.2%
フィリピン	10	1	2	6	0	1
		10.0%	20.0%	60.0%	0.0%	10.0%

表 2.2.4 場面4. 電子カルテに記載されている看護記録

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	7	17	7	0	13
		15.9%	38.6%	15.9%	0.0%	29.5%
H22年度 合格者	10	3	4	0	0	3
		30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%
H23年度 合格者	34	4	13	7	0	10
		11.8%	38.2%	20.6%	0.0%	29.4%
インドネシア	24	3	12	6	0	3
		12.5%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%
フィリピン	10	1	1	1	0	7
		10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	70.0%

表 2.2.5 場面5. 筆談による患者の訴えや要望

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	43	3	12	22	2	4
		7.0%	27.9%	51.2%	4.7%	9.3%
H22年度 合格者	10	1	4	3	1	1
		10.0%	40.0%	30.0%	10.0%	10.0%
H23年度 合格者	33	2	8	19	1	3
		6.1%	24.2%	57.6%	3.0%	9.1%
インドネシア	23	1	6	14	1	1
		4.3%	26.1%	60.9%	4.3%	4.3%
フィリピン	10	1	2	5	0	2
		10.0%	20.0%	50.0%	0.0%	20.0%

表 2.2.6 場面6. 他の病院からの看護サマリー（看護要約）

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	4	21	12	4	3
		9.1%	47.7%	27.3%	9.1%	6.8%
H22年度 合格者	10	2	7	0	0	1
		20.0%	70.0%	0.0%	0.0%	10.0%
H23年度 合格者	34	2	14	12	4	2
		5.9%	41.2%	35.3%	11.8%	5.9%
インドネシア	24	1	10	9	4	0
		4.2%	41.7%	37.5%	16.7%	0.0%
フィリピン	10	1	4	3	0	2
		10.0%	40.0%	30.0%	0.0%	20.0%

表 2.2.7 場面7. 基礎的な看護の技術や知識に関する専門書

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	6	25	12	0	1
		13.6%	56.8%	27.3%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	1	9	0	0	0
		10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	5	16	12	0	1
		14.7%	47.1%	35.3%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	4	11	9	0	0
		16.7%	45.8%	37.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	5	3	0	1
		10.0%	50.0%	30.0%	0.0%	10.0%

表 2.2.8 場面8. 自分の専門領域の看護専門書・雑誌

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	19	19	2	3
		2.3%	43.2%	43.2%	4.5%	6.8%
H22年度 合格者	10	0	5	4	0	1
		0.0%	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%
H23年度 合格者	34	1	14	15	2	2
		2.9%	41.2%	44.1%	5.9%	5.9%
インドネシア	24	1	10	12	1	0
		4.2%	41.7%	50.0%	4.2%	0.0%
フィリピン	10	0	4	3	1	2
		0.0%	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%

表 2.2.9 場面9. 薬の説明書や薬辞典

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	26	13	1	1
		6.8%	59.1%	29.5%	2.3%	2.3%
H22年度 合格者	10	1	9	0	0	0
		10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	2	17	13	1	1
		5.9%	50.0%	38.2%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	1	12	11	0	0
		4.2%	50.0%	45.8%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	5	2	1	1
		10.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%

表 2.2.10 場面10. 仕事相手から受信したメール

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	41	7	22	6	0	6
		17.1%	53.7%	14.6%	0.0%	14.6%
H22年度 合格者	9	2	6	0	0	1
		22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	11.1%
H23年度 合格者	32	5	16	6	0	5
		15.6%	50.0%	18.8%	0.0%	15.6%
インドネシア	23	4	13	5	0	1
		17.4%	56.5%	21.7%	0.0%	4.3%
フィリピン	9	1	3	1	0	4
		11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	44.4%

表 2.2.11 場面 1 1. 医療機器のパフレット

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	0	26	17	0	1
		0.0%	59.1%	38.6%	0.0%	2.3%
H22 年度 合格者	10	0	8	2	0	0
		0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	0	18	15	0	1
		0.0%	52.9%	44.1%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	0	12	12	0	0
		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	0	6	3	0	1
		0.0%	60.0%	30.0%	0.0%	10.0%

表 2.2.12 場面 1 2. 同僚からもらった業務に関する簡単なメモ

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	13	25	4	0	2
		29.5%	56.8%	9.1%	0.0%	4.5%
H22 年度 合格者	10	5	5	0	0	0
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	8	20	4	0	2
		23.5%	58.8%	11.8%	0.0%	5.9%
インドネシア	24	5	17	1	0	1
		20.8%	70.8%	4.2%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	3	3	3	0	1
		30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	10.0%

表 2.2.13 場面 13. 自分の部署のマニュアル

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	6	25	11	0	2
		13.6%	56.8%	25.0%	0.0%	4.5%
H22 年度 合格者	10	3	7	0	0	0
		30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	3	18	11	0	2
		8.8%	52.9%	32.4%	0.0%	5.9%
インドネシア	24	2	14	8	0	0
		8.3%	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	4	3	0	2
		10.0%	40.0%	30.0%	0.0%	20.0%

表 2.2.14 場面 14. 患者のベッドサイドなどに貼ってある、看護師どうしが使うメッセージや注意事項

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	12	29	2	0	1
		27.3%	65.9%	4.5%	0.0%	2.3%
H22 年度 合格者	10	4	6	0	0	0
		40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	8	23	2	0	1
		23.5%	67.6%	5.9%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	5	18	1	0	0
		20.8%	75.0%	4.2%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	3	5	1	0	1
		30.0%	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%

表 2.2.15 場面15. ナースステーション内のボードなどに書かれた業務予定や連絡事項

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	11	25	7	0	1
		25.0%	56.8%	15.9%	0.0%	2.3%
H22年度 合格者	10	5	5	0	0	0
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	6	20	7	0	1
		17.6%	58.8%	20.6%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	4	15	5	0	0
		16.7%	62.5%	20.8%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	5	2	0	1
		20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%

2.3 看護場面「話す」について

表 2.3.1 場面1. 患者と話す日常的な話題（趣味や家族のこと）についての会話

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	8	25	9	0	2
		18.2%	56.8%	20.5%	0.0%	4.5%
H22 年度 合格者	10	3	4	2	0	1
		30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	5	21	7	0	1
		14.7%	61.8%	20.6%	0.0%	2.9%
インドネシア	24	4	16	3	0	1
		16.7%	66.7%	12.5%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	1	5	4	0	0
		10.0%	50.0%	40.0%	0.0%	0.0%

表 2.3.2 場面2. 患者や患者の家族の希望を聞いて、ケアの時間を決めること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	8	22	12	1	1
		18.2%	50.0%	27.3%	2.3%	2.3%
H22 年度 合格者	10	3	5	2	0	0
		30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	5	17	10	1	1
		14.7%	50.0%	29.4%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	4	13	6	0	1
		16.7%	54.2%	25.0%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	1	4	4	1	0
		10.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%

表 2.3.3 場面3. 決まった内容の電話での業務連絡

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	4	15	20	3	2
		9.1%	34.1%	45.5%	6.8%	4.5%
H22年度 合格者	10	2	5	2	0	1
		20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%
H23年度 合格者	34	2	10	18	3	1
		5.9%	29.4%	52.9%	8.8%	2.9%
インドネシア	24	2	6	14	1	1
		8.3%	25.0%	58.3%	4.2%	4.2%
フィリピン	10	0	4	4	2	0
		0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%

表 2.3.4 場面4. 患者に対して行われている治療や看護のことについて、話す準備をして患者や患者の家族に説明すること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	16	24	2	1
		2.3%	36.4%	54.5%	4.5%	2.3%
H22年度 合格者	10	0	6	4	0	0
		0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	1	10	20	2	1
		2.9%	29.4%	58.8%	5.9%	2.9%
インドネシア	24	1	5	17	0	1
		4.2%	20.8%	70.8%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	0	5	3	2	0
		0.0%	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%

表 2.3.5 場面5. 患者や家族に、これから自分が行おうとしている看護ケアについて説明すること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	5	24	13	2	0
		11.4%	54.5%	29.5%	4.5%	0.0%
H22年度 合格者	10	1	7	2	0	0
		10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	4	17	11	2	0
		11.8%	50.0%	32.4%	5.9%	0.0%
インドネシア	24	4	11	9	0	0
		16.7%	45.8%	37.5%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	0	6	2	2	0
		0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%

表 2.3.6 場面6. 病院や所属部署で申し送りをする事

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	6	21	15	1	1
		13.6%	47.7%	34.1%	2.3%	2.3%
H22年度 合格者	10	2	5	3	0	0
		20.0%	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	4	16	12	1	1
		11.8%	47.1%	35.3%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	3	10	10	0	1
		12.5%	41.7%	41.7%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	1	6	2	1	0
		10.0%	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%

表 2.3.7 場面7. 患者に関する看護師どうしの情報のやりとり

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	6	21	16	1	0
		13.6%	47.7%	36.4%	2.3%	0.0%
H22年度 合格者	10	2	5	3	0	0
		20.0%	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	4	16	13	1	0
		11.8%	47.1%	38.2%	2.9%	0.0%
インドネシア	24	3	10	11	0	0
		12.5%	41.7%	45.8%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	6	2	1	0
		10.0%	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%

表 2.3.8 場面8. 患者の状態の変化に関することの医師や上司への報告をすること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	4	23	16	1	0
		9.1%	52.3%	36.4%	2.3%	0.0%
H22年度 合格者	10	1	7	2	0	0
		10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	3	16	14	1	0
		8.8%	47.1%	41.2%	2.9%	0.0%
インドネシア	24	1	11	12	0	0
		4.2%	45.8%	50.0%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	2	5	2	1	0
		20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%

表 2.3.9 場面9. 相手や状況に合わせて、丁寧な言い方とくだけた言い方（友達と話すような）を使い分けること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	22	17	1	1
		6.8%	50.0%	38.6%	2.3%	2.3%
H22 年度 合格者	10	2	6	2	0	0
		20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	1	16	15	1	1
		2.9%	47.1%	44.1%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	0	11	13	0	0
		0.0%	45.8%	54.2%	0.0%	0.0%
フィリピン	10	1	5	2	1	1
		10.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%

表 2.3.10 場面10. 久しぶりにお見舞いに来た患者の家族などに、最近の患者の状況について説明すること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	14	20	6	3
		2.3%	31.8%	45.5%	13.6%	6.8%
H22 年度 合格者	10	0	6	3	1	0
		0.0%	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	1	8	17	5	3
		2.9%	23.5%	50.0%	14.7%	8.8%
インドネシア	24	1	5	13	3	2
		4.2%	20.8%	54.2%	12.5%	8.3%
フィリピン	10	0	3	4	2	1
		0.0%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%

表 2.3.11 場面 1 1. 患者の急変の報告や診察の依頼を、医師に電話で連絡すること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	7	20	8	8
		2.3%	15.9%	45.5%	18.2%	18.2%
H22 年度 合格者	10	1	3	2	2	2
		10.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%
H23 年度 合格者	34	0	4	18	6	6
		0.0%	11.8%	52.9%	17.6%	17.6%
インドネシア	24	0	2	13	4	5
		0.0%	8.3%	54.2%	16.7%	20.8%
フィリピン	10	0	2	5	2	1
		0.0%	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%

表 2.3.12 場面 1 2. 患者や患者の家族に質問して患者の状態に関する情報収集をすること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	2	13	21	5	3
		4.5%	29.5%	47.7%	11.4%	6.8%
H22 年度 合格者	10	0	5	3	2	0
		0.0%	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	2	8	18	3	3
		5.9%	23.5%	52.9%	8.8%	8.8%
インドネシア	24	2	7	13	1	1
		8.3%	29.2%	54.2%	4.2%	4.2%
フィリピン	10	0	1	5	2	2
		0.0%	10.0%	50.0%	20.0%	20.0%

表 2.3.13 場面 13. 患者にリハビリや検査の時間を伝えること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	10	27	4	1	2
		22.7%	61.4%	9.1%	2.3%	4.5%
H22 年度 合格者	10	3	7	0	0	0
		30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	7	20	4	1	2
		20.6%	58.8%	11.8%	2.9%	5.9%
インドネシア	24	5	16	2	0	1
		20.8%	66.7%	8.3%	0.0%	4.2%
フィリピン	10	2	4	2	1	1
		20.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%

表 2.3.14 場面 14. 医師や理学療法士など、他の医療専門職からの患者についての質問に対して答えること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	15	21	2	3
		6.8%	34.1%	47.7%	4.5%	6.8%
H22 年度 合格者	10	1	5	3	0	1
		10.0%	50.0%	30.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	2	10	18	2	2
		5.9%	29.4%	52.9%	5.9%	5.9%
インドネシア	24	1	7	13	1	2
		4.2%	29.2%	54.2%	4.2%	8.3%
フィリピン	10	1	3	5	1	0
		10.0%	30.0%	50.0%	10.0%	0.0%

表 2.3.15 場面15. 病院や所属部署のカンファレンスで、自分の意見を言うこと

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	8	24	7	4
		2.3%	18.2%	54.5%	15.9%	9.1%
H22年度 合格者	10	1	4	4	1	0
		10.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	0	4	20	6	4
		0.0%	11.8%	58.8%	17.6%	11.8%
インドネシア	24	0	4	13	4	3
		0.0%	16.7%	54.2%	16.7%	12.5%
フィリピン	10	0	0	7	2	1
		0.0%	0.0%	70.0%	20.0%	10.0%

表 2.3.16 場面16. インシデント（ヒヤリ・ハット）が生じたときに、先輩看護師
や上司に何が起きたかを報告すること

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	6	20	13	2	3
		13.6%	45.5%	29.5%	4.5%	6.8%
H22年度 合格者	10	2	7	1	0	0
		20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	4	13	12	2	3
		11.8%	38.2%	35.3%	5.9%	8.8%
インドネシア	24	2	9	9	1	3
		8.3%	37.5%	37.5%	4.2%	12.5%
フィリピン	10	2	4	3	1	0
		20.0%	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%

2.4 看護場面「書く」について

表 2.4.1 場面 1. 筆談で会話をする事

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	43	1	9	27	4	2
		2.3%	20.9%	62.8%	9.3%	4.7%
H22 年度 合格者	10	1	2	6	1	0
		10.0%	20.0%	60.0%	10.0%	0.0%
H23 年度 合格者	33	0	7	21	3	2
		0.0%	21.2%	63.6%	9.1%	6.1%
インドネシア	23	0	3	16	3	1
		0.0%	13.0%	69.6%	13.0%	4.3%
フィリピン	10	0	4	5	0	1
		0.0%	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%

表 2.4.2 場面 2. 看護記録

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	6	21	15	2	0
		13.6%	47.7%	34.1%	4.5%	0.0%
H22 年度 合格者	10	2	8	0	0	0
		20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	4	13	15	2	0
		11.8%	38.2%	44.1%	5.9%	0.0%
インドネシア	24	1	9	13	1	0
		4.2%	37.5%	54.2%	4.2%	0.0%
フィリピン	10	3	4	2	1	0
		30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%

表 2.4.3 場面3. 看護サマリー (看護要約)

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	7	11	13	12
		2.3%	15.9%	25.0%	29.5%	27.3%
H22年度 合格者	10	0	4	2	2	2
		0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
H23年度 合格者	34	1	3	9	11	10
		2.9%	8.8%	26.5%	32.4%	29.4%
インドネシア	24	0	3	8	7	6
		0.0%	12.5%	33.3%	29.2%	25.0%
フィリピン	10	1	0	1	4	4
		10.0%	0.0%	10.0%	40.0%	40.0%

表 2.4.4 場面4. 先輩看護師や同僚に、用件を伝える簡単なメモ

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	4	25	13	1	1
		9.1%	56.8%	29.5%	2.3%	2.3%
H22年度 合格者	10	1	8	1	0	0
		10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	3	17	12	1	1
		8.8%	50.0%	35.3%	2.9%	2.9%
インドネシア	24	1	11	10	1	1
		4.2%	45.8%	41.7%	4.2%	4.2%
フィリピン	10	2	6	2	0	0
		20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%

表 2.4.5 場面5. インシデントレポート（ヒヤリ・ハット）

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	1	11	22	5	5
		2.3%	25.0%	50.0%	11.4%	11.4%
H22 年度 合格者	10	1	3	6	0	0
		10.0%	30.0%	60.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	0	8	16	5	5
		0.0%	23.5%	47.1%	14.7%	14.7%
インドネシア	24	0	4	10	5	5
		0.0%	16.7%	41.7%	20.8%	20.8%
フィリピン	10	0	4	6	0	0
		0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%

表 2.4.6 場面6. 体温表

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	26	14	1	2	1
		59.1%	31.8%	2.3%	4.5%	2.3%
H22 年度 合格者	10	9	1	0	0	0
		90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
H23 年度 合格者	34	17	13	1	2	1
		50.0%	38.2%	2.9%	5.9%	2.9%
インドネシア	24	10	11	1	1	1
		41.7%	45.8%	4.2%	4.2%	4.2%
フィリピン	10	7	2	0	1	0
		70.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%

表 2.4.7 場面7. 病院の研修などで出された宿題やレポート

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	2	18	15	4	5
		4.5%	40.9%	34.1%	9.1%	11.4%
H22 年度 合格者	10	0	6	2	0	2
		0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%
H23 年度 合格者	34	2	12	13	4	3
		5.9%	35.3%	38.2%	11.8%	8.8%
インドネシア	24	2	9	8	4	1
		8.3%	37.5%	33.3%	16.7%	4.2%
フィリピン	10	0	3	5	0	2
		0.0%	30.0%	50.0%	0.0%	20.0%

表 2.4.8 場面8. 自分の部署の連絡事項などを記載しているノートへの必要事項

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	18	14	1	8
		6.8%	40.9%	31.8%	2.3%	18.2%
H22 年度 合格者	10	1	6	2	0	1
		10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%
H23 年度 合格者	34	2	12	12	1	7
		5.9%	35.3%	35.3%	2.9%	20.6%
インドネシア	24	0	8	8	1	7
		0.0%	33.3%	33.3%	4.2%	29.2%
フィリピン	10	2	4	4	0	0
		20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%

表 2.4.9 場面9. 自分のシフトの間に行う看護業務の予定

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	11	17	11	1	4
		25.0%	38.6%	25.0%	2.3%	9.1%
H22年度 合格者	10	4	4	2	0	0
		40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	7	13	9	1	4
		20.6%	38.2%	26.5%	2.9%	11.8%
インドネシア	24	5	10	5	0	4
		20.8%	41.7%	20.8%	0.0%	16.7%
フィリピン	10	2	3	4	1	0
		20.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%

表 2.4.10 場面10. 患者および家族への看護計画同意書の作成

	回答数	できる	だいたい できる	できると きもある	できない	ない
全体	44	3	3	12	13	13
		6.8%	6.8%	27.3%	29.5%	29.5%
H22年度 合格者	10	1	2	3	4	0
		10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%
H23年度 合格者	34	2	1	9	9	13
		5.9%	2.9%	26.5%	26.5%	38.2%
インドネシア	24	2	1	7	5	9
		8.3%	4.2%	29.2%	20.8%	37.5%
フィリピン	10	0	0	2	4	4
		0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%

【3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度】

3. 看護管理者・指導者向け調査票別紙「到達していないと思われる要因」

※以下の表の割合は、各回答数の和を分母として計算した。

表 3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度

現時点で到達目標に到達していない要因							
1.看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標							
(1)看護職員としての自覚と責任ある行動							
①医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	12	5	0	9	2	・本人の個性 ・問題なく自立できています。
	割合	42.9%	17.9%	0.0%	32.1%	7.1%	
H22年度	回答数	2	1	0	1	1	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	
H23年度	回答数	10	4	0	8	1	
	割合	43.5%	17.4%	0.0%	34.8%	4.3%	
フィリピン	回答数	4	2	0	4	0	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	8	3	0	5	2	
	割合	44.4%	16.7%	0.0%	27.8%	11.1%	
②看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	
全体	回答数	11	9	3	6	2	・知識が統合できない、知識不足、インドネシアの教育課程が異なるため？ ・治療に対する知識不足
	割合	35.5%	29.0%	9.7%	19.4%	6.5%	
H22年度	回答数	3	2	1	0	1	
	割合	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	
H23年度	回答数	8	7	2	6	1	
	割合	33.3%	29.2%	8.3%	25.0%	4.2%	
フィリピン	回答数	2	2	0	2	0	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	
インドネシア	回答数	9	7	3	4	2	
	割合	36.0%	28.0%	12.0%	16.0%	8.0%	
③職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	
全体	回答数	10	2	0	11	1	・自己中心に考える、規定を忘れる
	割合	41.7%	8.3%	0.0%	45.8%	4.2%	
H22年度	回答数	2	0	0	2	0	
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
H23年度	回答数	8	2	0	9	0	
	割合	42.1%	10.5%	0.0%	47.4%	0.0%	
フィリピン	回答数	2	1	0	4	0	
	割合	28.6%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%	
インドネシア	回答数	8	1	0	7	1	
	割合	47.1%	5.9%	0.0%	41.2%	5.9%	

【3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度】

(2) 患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立							
①患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	22	6	2	18	3	・できるかもしれないが難しいと思う。 ・心理・社会面などの理解はむずかしいと思う。
	割合	43.1%	11.8%	3.9%	35.3%	5.9%	
H22年度	回答数	4	2	2	4	1	
	割合	30.8%	15.4%	15.4%	30.8%	7.7%	
H23年度	回答数	18	4	0	14	3	
	割合	46.2%	10.3%	0.0%	35.9%	7.7%	
フィリピン	回答数	5	1	0	2	1	
	割合	55.6%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	
インドネシア	回答数	17	5	2	16	2	
	割合	40.5%	11.9%	4.8%	38.1%	4.8%	
②患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	10	3	1	3	4	・児の扱いはやや荒っぽい。 ・外周りNs業務が未経験のため評価です。 ・できているとは思いますが、受容・共感難しいと思います。
	割合	47.6%	14.3%	4.8%	14.3%	19.0%	
H22年度	回答数	3	1	1	0	0	
	割合	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	7	2	0	3	3	
	割合	46.7%	13.3%	0.0%	20.0%	20.0%	
フィリピン	回答数	2	2	0	1	2	
	割合	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	
インドネシア	回答数	8	1	1	2	2	
	割合	57.1%	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	
③患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	35	5	2	9	4	・外周りNs業務が未経験のため評価です。 ・できると思うが自身がない様子。 ・深い部分の関わりは実施していない。
	割合	63.6%	9.1%	3.6%	16.4%	7.3%	
H22年度	回答数	8	2	2	3	0	
	割合	53.3%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%	
H23年度	回答数	27	3	0	6	4	
	割合	67.5%	7.5%	0.0%	15.0%	10.0%	
フィリピン	回答数	6	1	0	1	2	
	割合	60.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	
インドネシア	回答数	29	4	2	8	2	
	割合	64.4%	8.9%	4.4%	17.8%	4.4%	

【3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度】

④家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ④⑤⑥共通
全体	回答数	30	5	2	16	2	・外周リNs業務が未経験のため評価です。 ・深い部分の関わりは実施していない。
	割合	54.5%	9.1%	3.6%	29.1%	3.6%	
H22年度	回答数	6	2	1	5	1	
	割合	40.0%	13.3%	6.7%	33.3%	6.7%	
H23年度	回答数	24	3	1	11	2	
	割合	58.5%	7.3%	2.4%	26.8%	4.9%	
フィリピン	回答数	6	2	0	4	1	
	割合	46.2%	15.4%	0.0%	30.8%	7.7%	
インドネシア	回答数	24	3	2	12	1	
	割合	57.1%	7.1%	4.8%	28.6%	2.4%	
⑤守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	6	2	0	6	1	・自己学習のため、患者の個人情報を持ち出そうとしたことがある。 個人の問題が大きい。
	割合	40.0%	13.3%	0.0%	40.0%	6.7%	
H22年度	回答数	3	0	0	1	0	
	割合	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
H23年度	回答数	3	2	0	5	0	
	割合	30.0%	20.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
フィリピン	回答数	2	2	0	1	0	
	割合	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	4	0	0	5	1	
	割合	40.0%	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	
⑥看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	12	3	1	7	1	・家族と接しては、いません。
	割合	50.0%	12.5%	4.2%	29.2%	4.2%	
H22年度	回答数	3	1	1	2	0	
	割合	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	
H23年度	回答数	9	2	0	5	1	
	割合	52.9%	11.8%	0.0%	29.4%	5.9%	
フィリピン	回答数	5	2	0	2	1	
	割合	50.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	
インドネシア	回答数	7	1	1	5	0	
	割合	50.0%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%	

【3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度】

(3) 組織における役割・心構えの理解と適切な行動								
①病院及び看護部の理念を理解し行動する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通	
全体	回答数	21	2	0	5	0		
	割合	75.0%	7.1%	0.0%	17.9%	0.0%		
H22年度	回答数	5	0	0	0	1		
	割合	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%		
H23年度	回答数	16	2	0	5	0		
	割合	69.6%	8.7%	0.0%	21.7%	0.0%		
フィリピン	回答数	4	1	0	3	0		
	割合	50.0%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%		
インドネシア	回答数	17	1	0	2	0		
	割合	85.0%	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%		
②病院及び看護部の組織と機能について理解する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	20	2	0	8	1	・1～2年では、十分に理解できないと思われる。	
	割合	64.5%	6.5%	0.0%	25.8%	3.2%		
H22年度	回答数	5	0	0	1	2		
	割合	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%		
H23年度	回答数	15	2	0	7	0		
	割合	62.5%	8.3%	0.0%	29.2%	0.0%		
フィリピン	回答数	4	1	0	3	0		
	割合	50.0%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%		
インドネシア	回答数	16	1	0	5	1		
	割合	69.6%	4.3%	0.0%	21.7%	4.3%		
③チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	16	4	1	5	2	・1～2年では、十分に理解できないと思われる。 ・自己のことだけに集中してしまし、部署内の協働も難しい。	
	割合	57.1%	14.3%	3.6%	17.9%	7.1%		
H22年度	回答数	3	0	0	1	1		
	割合	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%		
H23年度	回答数	13	4	1	4	0		
	割合	59.1%	18.2%	4.5%	18.2%	0.0%		
フィリピン	回答数	3	1	0	2	0		
	割合	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%		
インドネシア	回答数	13	3	1	3	2		
	割合	59.1%	13.6%	4.5%	13.6%	9.1%		

【3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度】

④同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる							その他(記述)	その他(記述) ④①②共通	
	日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)	その他(記述)			
全体	回答数	20	1	0	4	1	・何でも「はい」と言ってしまう。		
	割合	76.9%	3.8%	0.0%	15.4%	3.8%			
H22年度	回答数	4	0	0	0	2			
	割合	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%			
H23年度	回答数	16	1	0	4	0			
	割合	76.2%	4.8%	0.0%	19.0%	0.0%			
フィリピン	回答数	3	1	0	1	0			
	割合	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%			
インドネシア	回答数	17	0	0	3	1			
	割合	81.0%	0.0%	0.0%	14.3%	4.8%			
(4)生涯にわたる主体的な自己学習の継続									
①自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を見つける									
	日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述)		
全体	回答数	15	8	2	4	4	・自主的に学ぶ姿勢が弱い。学習方法が分からない。 ・本人のモチベーションが上がらず、3月までは、②については設定できず。 ・自らすすんで課題を見つけない。 ・EPA看護師の目標管理を他の新人看護師と同じようには実施していない		
	割合	45.5%	24.2%	6.1%	12.1%	12.1%			
H22年度	回答数	4	2	1	1	3			
	割合	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	27.3%			
H23年度	回答数	11	6	1	3	2			
	割合	47.8%	26.1%	4.3%	13.0%	8.7%			
フィリピン	回答数	2	2	0	2	1			
	割合	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%			
インドネシア	回答数	13	6	2	2	3			
	割合	50.0%	23.1%	7.7%	7.7%	11.5%			
②課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する									
	日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)	その他(記述)		その他(記述)	
全体	回答数	14	4	2	3	6	・自己の課題が見つけれられないようにする。 ・本人のモチベーションが上がらず、3月までは、②については設定できず。 ・こちらから課題を与えないとやらない。 ・院内での様々な手段を十分活用できない。 ・EPA看護師の目標管理を他の新人看護師と同じようには実施していない。		
	割合	48.3%	13.8%	6.9%	10.3%	20.7%			
H22年度	回答数	4	0	0	1	1			
	割合	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%			
H23年度	回答数	10	4	2	2	3			
	割合	47.6%	19.0%	9.5%	9.5%	14.3%			
フィリピン	回答数	2	2	0	2	1			
	割合	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%			
インドネシア	回答数	12	2	2	1	5			
	割合	54.5%	9.1%	9.1%	4.5%	22.7%			

【3.1.1 看護職員として必要な基本姿勢と態度】

③学習の成果を自らの看護実践に活用する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	14	5	1	5	4	・本人のモチベーションが上がらず、3月までは、②については設定できず。 ・こちらから課題を与えないとやらない。 ・まだ、自身がなく不安が強く、自分の思うような動きがとれていないと感じる。 ・EPA看護師の目標管理を他の新人看護師と同じようには実施していない。
	割合	48.3%	17.2%	3.4%	17.2%	13.8%	
H22年度	回答数	4	0	0	2	1	
	割合	57.1%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	
H23年度	回答数	10	5	1	3	3	
	割合	45.5%	22.7%	4.5%	13.6%	13.6%	
フィリピン	回答数	2	2	0	2	2	
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
インドネシア	回答数	12	3	1	3	2	
	割合	57.1%	14.3%	4.8%	14.3%	9.5%	

表 3.1.2 看護技術

現時点で到達目標に到達していない要因								
2.看護技術についての到達目標								
(1)環境調整技術								
①温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	4	3	0	3	1	2	・日本の四季に合わせた調節困難。
	割合	30.8%	23.1%	0.0%	23.1%	7.7%	15.4%	
H22年度	回答数	1	1	0	0	0	0	
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	3	2	0	3	1	2	
	割合	27.3%	18.2%	0.0%	27.3%	9.1%	18.2%	
フィリピン	回答数	2	2	0	0	0	1	
	割合	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
インドネシア	回答数	2	1	0	3	1	1	
	割合	25.0%	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%	
②ベッドメイキング (例: 臥床患者のベッドメイキング)								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	1	1	0	0	1	1	・手術室環境のみ
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	1	1	0	0	1	1	
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	1	
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
インドネシア	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(2)食事援助技術								
①食生活支援								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	5	2	0	3	5	5	・配属された病棟では経験しないため。 ・栄養補助剤の手配などは困難。 ・外来勤務上、実施経験の場がなかった為 ・「食生活支援」の範囲が広すぎる。
	割合	25.0%	10.0%	0.0%	15.0%	25.0%	25.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
H23年度	回答数	5	2	0	3	4	5	
	割合	26.3%	10.5%	0.0%	15.8%	21.1%	26.3%	
フィリピン	回答数	3	2	0	1	4	2	
	割合	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	33.3%	16.7%	
インドネシア	回答数	2	0	0	2	1	3	
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	

		②食事介助							その他(記述)	その他(記述) ②③①共通	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)				
全体	回答数	1	3	1	0	4	3	・外来勤務上、実施経験の場がなかった為。			
	割合	8.3%	25.0%	8.3%	0.0%	33.3%	25.0%				
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	0				
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%				
H23年度	回答数	1	3	1	0	3	3				
	割合	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	27.3%	27.3%				
フィリピン	回答数	1	3	1	0	3	2				
	割合	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	30.0%	20.0%				
インドネシア	回答数	0	0	0	0	1	1				
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%				
		③経管栄養法							その他(記述)	その他(記述) ②③①共通	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)				
全体	回答数	1	3	2	0	8	9	・対象患者がいいため、経管栄養を行っている患者が少ないまま。 ・当該病棟では経管栄養がないため3となっております。 ・外来勤務上、実施経験の場がなかった為。 ・所属部署の看ゴとして不要。 ・受け待ち患者で症例がなかった。 ・他チームであるため機会がない。			
	割合	4.3%	13.0%	8.7%	0.0%	34.8%	39.1%				
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	0				
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%				
H23年度	回答数	1	3	2	0	7	9				
	割合	4.5%	13.6%	9.1%	0.0%	31.8%	40.9%				
フィリピン	回答数	1	2	1	0	5	3				
	割合	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	41.7%	25.0%				
インドネシア	回答数	0	1	1	0	3	6				
	割合	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	54.5%				
(3)排泄援助技術											
		①自然排尿・排便援助							その他(記述)	その他(記述) ②③①共通	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)				
全体	回答数	2	3	0	0	1	2	・配属された病棟では経験しないため。 ・手術室なので、未実施。			
	割合	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%				
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0				
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
H23年度	回答数	2	3	0	0	1	2				
	割合	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%				
フィリピン	回答数	1	2	0	0	1	2				
	割合	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%				
インドネシア	回答数	1	1	0	0	0	0				
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				

		②洗腸							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ②③④共通
全体	回答数	3	2	0	0	3	5	・配属された病棟では経験しないため。 ・手術室なので、未実施。 ・実施回数が少ないため、指導下にしかやってない。 ・機会がない。 ・施行する機会が少ない。	
	割合	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	38.5%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	3	2	0	0	3	5		
	割合	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	38.5%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	2	3		
	割合	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%		
インドネシア	回答数	2	1	0	0	1	2		
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%		
		③膀胱内留置カテーテルの挿入と管理							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	3	4	1	0	3	4	・器械だしのみしか行っていないため。 ・未実施 ・感染リスク、管理の基準が少し違う。 ・挿入はできないが、管理はできる。	
	割合	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	20.0%	26.7%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	3	4	1	0	3	4		
	割合	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	20.0%	26.7%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	1		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
インドネシア	回答数	2	3	1	0	3	3		
	割合	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%	25.0%	25.0%		
		④摘便							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	2	4	2	0	2	5	・配属された病棟では経験しないため。 ・手術室なので、未実施。 ・未実施 ・機会はない。 ・施行する機会が少ない。	
	割合	13.3%	26.7%	13.3%	0.0%	13.3%	33.3%		
H22年度	回答数	0	0	1	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	2	4	1	0	2	5		
	割合	14.3%	28.6%	7.1%	0.0%	14.3%	35.7%		
フィリピン	回答数	1	2	0	0	1	4		
	割合	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%		
インドネシア	回答数	1	2	2	0	1	1		
	割合	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%		

⑤導尿									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ⑤①②共通
全体	回答数	3	1	2	0	4	5	・男性のみ未。機会がない。 ・まだ手洗いの業務のみ。 ・未実施 ・機会がない。	
	割合	20.0%	6.7%	13.3%	0.0%	26.7%	33.3%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
H23年度	回答数	3	1	2	0	4	4		
	割合	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	2		
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%		
インドネシア	回答数	2	0	2	0	3	3		
	割合	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	30.0%	30.0%		
(4)活動・休息援助技術									
①歩行介助・移動の介助・移送									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	2	1	1	0	2	1	・配属された病棟では経験しないため	
	割合	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	2	1	1	0	2	1		
	割合	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%		
フィリピン	回答数	1	1	1	0	1	1		
	割合	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%		
インドネシア	回答数	1	0	0	0	1	0		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
②体位変換									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	2	3	0	0	3	3	・症例によって(術後未経験)。 ・クッション、マットの選択は難しい。	
	割合	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	2	3	0	0	3	3		
	割合	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%		
フィリピン	回答数	1	2	0	0	1	1		
	割合	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%		
インドネシア	回答数	1	1	0	0	2	2		
	割合	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%		

③関節可動域訓練・廃用性症候群予防								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ③④⑤共通
全体	回答数	3	3	2	1	9	6	・自ら実施することはない。 ・手術室環境のみ。 ・未実施 ・リハビリスタッフが中心に行うため。 ・ROMはリハが行っているが、指導のもとナースが行っているときもある。
	割合	12.5%	12.5%	8.3%	4.2%	37.5%	25.0%	
H22年度	回答数	1	0	0	1	1	1	
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	
H23年度	回答数	2	3	2	0	8	5	
	割合	10.0%	15.0%	10.0%	0.0%	40.0%	25.0%	
フィリピン	回答数	1	2	0	0	3	3	
	割合	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
インドネシア	回答数	2	1	2	1	6	3	
	割合	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	40.0%	20.0%	
④入眠・睡眠への援助								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	4	1	0	2	9	10	・夜勤が実践していないため。 ・手術室のため、未経験。 ・夜勤に入っていない。 ・未実施 ・夜勤経験が少ないため。 ・援助の機会がない。 ・夜勤をしていない。環境整備は出来る。一人では判断できない。 ・夜勤をしていない。
	割合	15.4%	3.8%	0.0%	7.7%	34.6%	38.5%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	2	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
H23年度	回答数	4	1	0	2	7	9	
	割合	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	30.4%	39.1%	
フィリピン	回答数	2	1	0	1	3	3	
	割合	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	30.0%	
インドネシア	回答数	2	0	0	1	6	7	
	割合	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	37.5%	43.8%	
⑤体動・移動に注意が必要な患者への援助								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	9	3	5	2	1	6	・高齢者の方言や、不穏患者の言葉が理解できないため。 ・経験不足のため。 ・手術室のため、未経験。 ・援助の機会がない。 ・日勤はスタッフが多いので一人で行う事はない。夜勤が未だなので対応の把握が不十分。
	割合	34.6%	11.5%	19.2%	7.7%	3.8%	23.1%	
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	1	
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
H23年度	回答数	8	3	5	2	1	5	
	割合	33.3%	12.5%	20.8%	8.3%	4.2%	20.8%	
フィリピン	回答数	2	1	1	0	1	3	
	割合	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	
インドネシア	回答数	7	2	4	2	0	3	
	割合	38.9%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	16.7%	

(5) 清潔・衣生活援助技術								
① 清拭								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	1	1	0	0	1	3	・手術室のみ
	割合	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	1	1	0	0	1	3	
	割合	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	2	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
② 洗髪								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	2	1	1	0	4	3	・手術室のため未経験。
	割合	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	36.4%	27.3%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	2	1	1	0	4	3	・配属された病棟では経験しないため。 ・外来勤務上、実施経験の場がなかった為
	割合	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	36.4%	27.3%	
フィリピン	回答数	1	1	1	0	2	2	
	割合	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	
インドネシア	回答数	1	0	0	0	2	1	
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	
③ 口腔ケア								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	1	1	1	0	4	4	・手術室のため未経験。 ・技術が未熟なため。
	割合	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	36.4%	36.4%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	1	1	1	0	4	4	
	割合	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	36.4%	36.4%	
フィリピン	回答数	1	1	1	0	2	2	
	割合	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	
インドネシア	回答数	0	0	0	0	2	2	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	

④入浴介助								
		日本語能力が十分でないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ④⑤⑥共通
全体	回答数	2	2	0	0	7	6	・入浴介助担当者が別にいるため。 ・まだ、一年目は実施していない。 ・機会がない。
	割合	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	41.2%	35.3%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
H23年度	回答数	2	2	0	0	6	5	
	割合	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	
フィリピン	回答数	1	2	0	0	2	2	
	割合	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	
インドネシア	回答数	1	0	0	0	5	4	
	割合	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	40.0%	
⑤部分浴・陰部ケア・おむつ交換								
		日本語能力が十分でないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	1	1	1	0	1	3	・配属された病棟では経験しないため。 ・手術室のため未経験 ・外来勤務上、実施経験の場がなかった為。
	割合	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	1	1	1	0	1	3	
	割合	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	
フィリピン	回答数	1	1	1	0	1	2	
	割合	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	
インドネシア	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
⑥寝衣交換等の衣生活支援、整容								
		日本語能力が十分でないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	2	1	1	0	2	4	・介護職員が中心に行うため、日本でも実践数はかぎられている。
	割合	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%	40.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	2	1	1	0	2	4	
	割合	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	2	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	1	0	1	0	1	2	
	割合	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	

(6)呼吸・循環を整える技術								
①酸素吸入療法								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	3	3	0	0	1	3	
	割合	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	3	3	0	0	1	2	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	2	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	2	2	0	0	0	1	
	割合	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
②吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	5	4	1	0	1	5	・対象者が少なく技術が未熟。 ・実践から5年以上あいている。
	割合	31.3%	25.0%	6.3%	0.0%	6.3%	31.3%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	・新生児への理解(知識)に乏しいので経験させていない項目が多い。 ・配属された病棟では経験しないため。 ・手洗い介助のみで未経験、今後、指導の予定。
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	5	4	1	0	1	4	
	割合	33.3%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%	26.7%	
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	2	
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	
インドネシア	回答数	3	3	1	0	0	3	
	割合	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	
③ネブライザーの実施								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	5	3	1	0	3	5	・対象者が少なく技術が未熟。 ・対象者がいない。
	割合	29.4%	17.6%	5.9%	0.0%	17.6%	29.4%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	・対象者が少なく技術が未熟。 ・対象者がいない。
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
H23年度	回答数	5	3	1	0	3	4	
	割合	31.3%	18.8%	6.3%	0.0%	18.8%	25.0%	
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	2	
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	
インドネシア	回答数	3	2	1	0	2	3	
	割合	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	

[3.1.2 看護技術]

④体温調整									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ④⑤⑥共通	
全体	回答数	2	3	1	0	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり機会がない。 ・経験する事がない。 ・機会がない。 ・他チームの対象患者であり、あまり機会がない。 ・1人では行っていない。 ・実践場面が少ない。 ・新生児への理解(知識)に乏しいので経験させていない項目が多い。 ・配属された病棟では経験しないため。 ・手洗い介助のみで未経験、今後、指導の予定。 	
	割合	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%		
H22年度	回答数	0	1	0	0	0	1		
	割合	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	2	2	1	0	1	2		
	割合	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%		
フィリピン	回答数	1	1	1	0	1	2		
	割合	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%		
インドネシア	回答数	1	2	0	0	0	1		
	割合	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
⑤体位ドレナージ									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)		
全体	回答数	4	3	1	0	8	9		<ul style="list-style-type: none"> ・あまり機会がない。 ・経験する事がない。 ・機会がない。 ・他チームの対象患者であり、あまり機会がない。 ・1人では行っていない。 ・実践場面が少ない。 ・新生児への理解(知識)に乏しいので経験させていない項目が多い。 ・配属された病棟では経験しないため。 ・手洗い介助のみで未経験、今後、指導の予定。
	割合	16.0%	12.0%	4.0%	0.0%	32.0%	36.0%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	3		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%		
H23年度	回答数	4	3	1	0	7	6		
	割合	19.0%	14.3%	4.8%	0.0%	33.3%	28.6%		
フィリピン	回答数	3	1	0	0	3	2		
	割合	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%		
インドネシア	回答数	1	2	1	0	5	7		
	割合	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	31.3%	43.8%		
⑥人工呼吸器の管理									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)		
全体	回答数	7	2	4	0	14	13	<ul style="list-style-type: none"> ・学習がまだ追いついていない。 ・当病棟には、該当Pkgがないため。 ・あまり機会がない。 ・人工呼吸器の設備なし。 ・呼吸器装着中患者をまだ受けもっていない。 ・重症患者の受け持ちをしていない。 ・1人では出来ない。 ・患者に与える影響が高い。 ・施行する機会が高い。 ・リスクの高いことは実施していない。 ・レスピレータ使用者がいない。 	
	割合	17.5%	5.0%	10.0%	0.0%	35.0%	32.5%		
H22年度	回答数	1	1	1	0	1	4		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	6	1	3	0	13	9		
	割合	18.8%	3.1%	9.4%	0.0%	40.6%	28.1%		
フィリピン	回答数	3	0	0	0	6	3		
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%		
インドネシア	回答数	4	2	4	0	8	10		
	割合	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	28.6%	35.7%		

(7) 創傷管理技術											
① 創傷処置											
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通		
全体	回答数	3	4	1	0	3	9	・褥瘡NSの指導の元、処置はできる。 ・機会が少ない。 ・未実施 ・重症患者の受け持ちをしていない ・衛生材料等がちがう。 ・種類が多く迷う			
	割合	15.0%	20.0%	5.0%	0.0%	15.0%	45.0%				
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	2				
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%				
H23年度	回答数	3	4	1	0	3	7				
	割合	16.7%	22.2%	5.6%	0.0%	16.7%	38.9%				
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	2				
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%				
インドネシア	回答数	1	3	1	0	2	7				
	割合	7.1%	21.4%	7.1%	0.0%	14.3%	50.0%				
② 褥瘡の予防											
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)			その他(記述)	
全体	回答数	3	4	3	1	3	5	・体位変換などはさせる、褥瘡の治療については対象がいなかった。 ・新生児への理解(知識)に乏しいので経験させていない項目が多い。 ・配属された病棟では経験しないため ・手洗い介助のみで未経験、今後、指導の予定。 ・現時点では記録を重視しているので、創傷アセスメントなどまで到達していない。			
	割合	15.8%	21.1%	15.8%	5.3%	15.8%	26.3%				
H22年度	回答数	1	0	1	1	1	1				
	割合	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%				
H23年度	回答数	2	4	2	0	2	4				
	割合	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%				
フィリピン	回答数	2	2	0	0	2	2				
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%				
インドネシア	回答数	1	2	3	1	1	3				
	割合	9.1%	18.2%	27.3%	9.1%	9.1%	27.3%				
③ 包帯法											
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)			その他(記述)	
全体	回答数	2	2	1	0	6	5	・実践場面が少ない。			
	割合	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	37.5%	31.3%				
H22年度	回答数	0	0	0	0	2	1				
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%				
H23年度	回答数	2	1	0	4	4	4				
	割合	13.3%	6.7%	0.0%	26.7%	26.7%	26.7%				
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	2				
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%				
インドネシア	回答数	0	1	1	0	5	3				
	割合	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%	30.0%				

(B)与薬の技術								
①経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通
全体	回答数	4	1	0	0	3	2	
	割合	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	20.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	4	1	0	0	3	2	
	割合	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	20.0%	
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	2	0	0	0	3	0	
	割合	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
②皮下注射、筋肉内注射、皮内注射								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	3	2	0	0	0	3	・皮内のみ対象なし。
	割合	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	3	2	0	0	0	3	
	割合	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	1	1	0	0	0	1	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
③静脈内注射、点滴静脈内注射								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	5	2	0	0	2	4	・挿入の手技は不可。 ・ブランクがある。
	割合	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%	30.8%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	5	2	0	0	2	3	
	割合	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	3	1	0	0	2	2	
	割合	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	

・器械出し業務しか行っていないため。
・手洗い介助のみで未経験、今後、指導の予定。

④中心静脈内注射の準備・介助・管理										
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ④⑤⑥共通	
全体	回答数	6	1	2	0	6	8	・未実施。 ・中心静脈内注射の症例が多い。 ・重症患者の受け持ちをしていない。 ・対象者がいない。 ・プランクがある。		
	割合	26.1%	4.3%	8.7%	0.0%	26.1%	34.8%			
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0			
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
H23年度	回答数	6	1	2	0	6	8			
	割合	26.1%	4.3%	8.7%	0.0%	26.1%	34.8%			
フィリピン	回答数	3	1	0	0	0	2			
	割合	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%			
インドネシア	回答数	3	0	2	0	6	6			
	割合	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%	35.3%	35.3%			
⑤輸液ポンプの準備と管理										
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)			その他(記述)
全体	回答数	2	1	1	0	3	6	・現時点では他のスタッフがを行っている。 ・未実施。 ・経験日数が少ない為。 ・他チームあまり機会がない。	・器械出し業務しか行っていないため。 ・手洗い介助のみで未経験、今後、指導の予定。	
	割合	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	23.1%	46.2%			
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0			
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
H23年度	回答数	2	1	1	0	3	6			
	割合	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	23.1%	46.2%			
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2			
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%			
インドネシア	回答数	0	0	1	0	3	4			
	割合	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	50.0%			
⑥輸血の準備、輸血中と輸血後の観察										
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)			その他(記述)
全体	回答数	7	2	2	0	5	8	・FFPのみ未実施。 RGC、PCIは自立。 ・当病棟ではこの処置が殆どない為。 ・未実施 ・対象者がいない。 ・経験がない。 ・リスクの高いことは実施していない。		
	割合	29.2%	8.3%	8.3%	0.0%	20.8%	33.3%			
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	2			
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%			
H23年度	回答数	6	2	2	0	5	6			
	割合	28.6%	9.5%	9.5%	0.0%	23.8%	28.6%			
フィリピン	回答数	2	0	0	0	2	2			
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%			
インドネシア	回答数	5	2	2	0	3	6			
	割合	27.8%	11.1%	11.1%	0.0%	16.7%	33.3%			

		⑦抗生物質の用法と副作用の観察							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ⑦⑧⑨共通
全体	回答数	4	2	0	0	3	4	・どこまで理解して投与しているかは不明。 ・3月までには指導の予定。	
	割合	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	30.8%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
H23年度	回答数	4	2	0	0	3	3		
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2		
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%		
インドネシア	回答数	2	1	0	0	3	2		
	割合	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	25.0%		
		⑧インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	5	4	2	0	1	4	・3月までには指導の予定。 ・経験がない。 ・器械出し業務しか行っていないため。 ・未実施	
	割合	31.3%	25.0%	12.5%	0.0%	6.3%	25.0%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	5	4	2	0	1	4		
	割合	31.3%	25.0%	12.5%	0.0%	6.3%	25.0%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2		
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%		
インドネシア	回答数	3	3	2	0	1	2		
	割合	27.3%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	18.2%		
		⑨麻薬の主作用・副作用の観察							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践しなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	8	1	2	0	8	10	・当病棟ではこの処置が殆どない為。 ・他のスタッフがを行っている。 ・手洗い介助のみなので未経験。 ・麻薬使用患者をうけもたせない。 ・未実施 ・対象者がいない ・経験がない。 ・症状の細かいやりとりは難しいと思う。	
	割合	27.6%	3.4%	6.9%	0.0%	27.6%	34.5%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	1	1		
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%		
H23年度	回答数	7	1	2	0	7	9		
	割合	26.9%	3.8%	7.7%	0.0%	26.9%	34.6%		
フィリピン	回答数	1	0	0	0	1	2		
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%		
インドネシア	回答数	7	1	2	0	7	8		
	割合	28.0%	4.0%	8.0%	0.0%	28.0%	32.0%		

⑩薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ⑩⑪⑫共通	
全体	回答数	10	2	3	0	3	9	・当病棟ではこの処置が殆どない為。 ・他のスタッフが行っている。 ・麻薬使用患者をうけもたせない。 ・未実施 ・2か月しか経過していないため。 ・勤務時間帯で当たらない。	
	割合	37.0%	7.4%	11.1%	0.0%	11.1%	33.3%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	1		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	9	2	3	0	3	8		
	割合	36.0%	8.0%	12.0%	0.0%	12.0%	32.0%		
フィリピン	回答数	4	1	0	0	1	2		
	割合	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%		
インドネシア	回答数	6	1	3	0	2	7		
	割合	31.6%	5.3%	15.8%	0.0%	10.5%	36.8%		
(9)救急救命処置技術									
①意識レベルの把握									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	2	2	1	0	1	10	・経験が少なく、他のスタッフが行っている。 ・急変時の場面にあったことがない為、評価できない。 ・ICLS受講 ・JCS・グラスコーを忘れ易い。 ・機会がない。 ・ACLSの練習はしている ・現在まで対象患者さんがいない。 ・伝達が難しい。	
	割合	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	62.5%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	2	2	1	0	1	10		
	割合	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	62.5%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	3		
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%		
インドネシア	回答数	1	1	1	0	1	7		
	割合	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	63.6%		
②気道確保									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	4	2	2	0	1	13	・院内研修時に参加できなかった。 ・あまり機会がない。 ・経験が少なく、他のスタッフが行っている。 ・演習でしか行っていない。 ・未実施 ・急変時の場面にあったことがない為、評価できない。 ・ACLSの練習はしている。 ・現在まで対象患者さんがいない。	
	割合	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	4.5%	59.1%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	2		
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%		
H23年度	回答数	3	2	2	0	1	11		
	割合	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%	57.9%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	3		
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
インドネシア	回答数	2	1	2	0	1	10		
	割合	12.5%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	62.5%		

・器械出し業務しか行っていないため
 ・手洗い介助のみなので未経験。

③人工呼吸								その他(記述)	その他(記述) ③④⑤共通	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)			
全体	回答数	4	2	2	0	4	14	・行う機会がない。		
	割合	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	53.8%			
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	2			
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%			
H23年度	回答数	3	2	2	0	4	12			
	割合	13.0%	8.7%	8.7%	0.0%	17.4%	52.2%			
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	3			
	割合	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%			
インドネシア	回答数	2	1	2	0	3	11			
	割合	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%	57.9%			
④閉鎖式心臓マッサージ									その他(記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内研修時に参加できなかった ・あまり機会がない ・経験が少なく、他のスタッフがやっている。 ・器械出し業務しか行っていないため ・手洗い介助のみなので未経験 ・演習でしか行っていない ・未実施 ・急変時の場面にあつたことがない為、評価できない。 ・患者のcaseがほとんどない ・機会がない ・ACLSの練習はしている ・実践場面が少ない。 ・現在まで対象患者さんがいない。
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)			
全体	回答数	3	2	2	0	3	14			
	割合	12.5%	8.3%	8.3%	0.0%	12.5%	58.3%			
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	2			
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%			
H23年度	回答数	2	2	2	0	3	12			
	割合	9.5%	9.5%	9.5%	0.0%	14.3%	57.1%			
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	3			
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%			
インドネシア	回答数	2	1	2	0	3	11			
	割合	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%	57.9%			
⑤気管挿管の準備と介助								その他(記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・回数不足の為 ・一人では出来ない。 	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)			
全体	回答数	5	3	2	0	4	15			
	割合	17.2%	10.3%	6.9%	0.0%	13.8%	51.7%			
H22年度	回答数	1	1	0	0	0	2			
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%			
H23年度	回答数	4	2	2	0	4	13			
	割合	16.0%	8.0%	8.0%	0.0%	16.0%	52.0%			
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	3			
	割合	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%			
インドネシア	回答数	3	2	2	0	3	12			
	割合	13.6%	9.1%	9.1%	0.0%	13.6%	54.5%			

		⑥止血							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ⑥⑦共通
全体	回答数	4	2	2	0	1	12	・院内研修時に参加できなかった ・経験が少なく、他のスタッフが行っている。 ・手洗い介助のみなので未経験 ・演習でしか行っていない ・未実施 ・急変時の場面にあったことがない為、評価できない。 ・動脈血の止血はできています。 ・ACLSの練習はしている ・現在まで対象患者さんがいない。	・器械出し業務しか行っていないため。
	割合	19.0%	9.5%	9.5%	0.0%	4.8%	57.1%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	1		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	3	2	2	0	1	11		
	割合	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%	57.9%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	3		
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
インドネシア	回答数	2	1	2	0	1	9		
	割合	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	6.7%	60.0%		
		⑦チームメンバーへの応援要請							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	7	3	0	0	1	10	・院内研修時に参加できなかった ・経験が少なく、他のスタッフが行っている。 ・手洗い介助のみなので未経験 ・演習でしか行っていない ・未実施 ・急変時の場面にあったことがない為、評価できない。 ・遠慮することがある。 ・動脈血の止血はできています。 ・ACLSの練習はしている ・現在まで対象患者さんがいない。	
	割合	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%	4.8%	47.6%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	3		
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%		
H23年度	回答数	6	3	0	0	1	7		
	割合	35.3%	17.6%	0.0%	0.0%	5.9%	41.2%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2		
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%		
インドネシア	回答数	5	2	0	0	1	8		
	割合	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	50.0%		
		(i0) 症状・生体機能管理技術							
		①バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	4	2	1	0	0	3	・解釈が難しい、教育の違い？ ・バイタルサインに対するアセスメント不足	
	割合	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	0	1		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	3	2	1	0	0	2		
	割合	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	1		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
インドネシア	回答数	3	1	1	0	0	2		
	割合	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%		

		②身体計測						その他(記述)	その他(記述) ②③④共通
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)		
全体	回答数	3	1	0	0	1	3	・未実施	
	割合	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	3	1	0	0	1	3		
	割合	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	1	2		
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%		
インドネシア	回答数	1	0	0	0	0	1		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
		③静脈血採血と検体の取扱い						その他(記述)	・スピッツの種類を選択(色など) ・器械出し業務しか行っていないため ・手洗い介助のみ、未経験、今後、指導の予定
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)		
全体	回答数	4	2	0	0	0	3		
	割合	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	4	2	0	0	0	3		
	割合	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	2		
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%		
インドネシア	回答数	2	1	0	0	0	1		
	割合	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
		④動脈血採血の準備と検体の取扱い						その他(記述)	・殆どないため。 ・他のスタッフが行っている。 ・未実施 ・対象なし
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)		
全体	回答数	4	2	1	0	1	6		
	割合	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	42.9%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
H23年度	回答数	4	2	1	0	1	5		
	割合	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%	38.5%		
フィリピン	回答数	1	0	0	0	1	2		
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%		
インドネシア	回答数	3	2	1	0	0	4		
	割合	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	40.0%		

⑤採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	1	2	0	0	0	5	・実際に経験していない。 ・対象なし	
	割合	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
H23年度	回答数	1	2	0	0	0	4		
	割合	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	2		
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
インドネシア	回答数	0	1	0	0	0	3		
	割合	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%		
⑥血糖値測定と検体の取扱い									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	1	0	0	0	0	2	・器械出し業務しか行っていないため ・手洗い介助のみ、未経験、今後、指導の予定	
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	1	0	0	0	0	2		
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%		
フィリピン	回答数	0	0	0	0	0	2		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
インドネシア	回答数	1	0	0	0	0	0		
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
⑦心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	部署では必要とされていない	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	5	4	4	0	3	10	・部署内勉強会で行った。 ・経験する事が無い。 ・モニターはできるが、12誘導は未経験 ・回数不足	
	割合	19.2%	15.4%	15.4%	0.0%	11.5%	38.5%		
H22年度	回答数	0	0	1	0	0	2		
	割合	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%		
H23年度	回答数	5	4	3	0	3	8		
	割合	21.7%	17.4%	13.0%	0.0%	13.0%	34.8%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	4		
	割合	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%		
インドネシア	回答数	4	3	4	0	3	6		
	割合	20.0%	15.0%	20.0%	0.0%	15.0%	30.0%		

⑥パルスオキシメーターによる測定								その他(記述) ⑧①②共通
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	
全体	回答数	1	0	0	0	0	2	・手洗い介助のみ、未経験、今後、指導の予定 ・患者への声かけが適切にされて初めて①～④の技術取得 ・器械出し業務しか行っていないため
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	1	0	0	0	0	2	
	割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	
フィリピン	回答数	0	0	0	0	0	2	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
インドネシア	回答数	1	0	0	0	0	0	
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(11) 苦痛の緩和・安楽確保の技術								
①安楽な体位の保持								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	
全体	回答数	2	3	0	1	0	3	
	割合	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	2	3	0	1	0	3	
	割合	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	2	
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
インドネシア	回答数	1	2	0	1	0	1	
	割合	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	
②薬法等身体安楽促進ケア								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	
全体	回答数	2	2	0	0	2	4	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	2	2	0	0	2	4	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	2	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
インドネシア	回答数	1	1	0	0	1	2	
	割合	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	

③リラクゼーション									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	その他(記述) ③④①共通
全体	回答数	7	2	1	2	2	4	・母国で学んだことがあるかもしれないが、未確認である。 ・未実施 ・患者への声かけが適切にされて初めて①～④の技術取得	
	割合	38.9%	11.1%	5.6%	11.1%	11.1%	22.2%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%		
H23年度	回答数	7	2	1	2	1	3		
	割合	43.8%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%	18.8%		
フィリピン	回答数	2	1	0	1	1	1		
	割合	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%		
インドネシア	回答数	5	1	1	1	1	3		
	割合	41.7%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	25.0%		
④精神的安寧を保つための看護ケア									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	12	3	1	3	3	5	・母国で学んだことがあるかもしれないが、未確認である。 ・未実施 ・認知症が多い病棟の為、認知症の看護がメインとなる。 ・器械出し業務しか行っていないため	
	割合	44.4%	11.1%	3.7%	11.1%	11.1%	18.5%		
H22年度	回答数	0	1	0	0	1	1		
	割合	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%		
H23年度	回答数	12	2	1	3	2	4		
	割合	50.0%	8.3%	4.2%	12.5%	8.3%	16.7%		
フィリピン	回答数	3	1	0	1	1	1		
	割合	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%		
インドネシア	回答数	9	2	1	2	2	4		
	割合	45.0%	10.0%	5.0%	10.0%	10.0%	20.0%		
(14) 感染予防技術									
①スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	5	4	0	0	0	4	・不潔操作が目立つ、知識不足 ・感染対策などのマニュアルが熟読出来ないため、指導者の指導は必須となる ・指導が必要	
	割合	38.5%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%		
H22年度	回答数	1	2	0	0	0	1		
	割合	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
H23年度	回答数	4	2	0	0	0	3		
	割合	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	1		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
インドネシア	回答数	4	3	0	0	0	3		
	割合	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%		

②必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ②③④共通	
全体	回答数	4	6	1	2	0	3	・指導が必要 ・すべて把握できてない。日本人新人NSと同等レベル ・感染対策などのマニュアルが熟読出来ないで、指導者の指導は必須となる	
	割合	25.0%	37.5%	6.3%	12.5%	0.0%	18.8%		
H22年度	回答数	0	2	0	1	0	0		
	割合	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	4	4	1	1	0	3		
	割合	30.8%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	23.1%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	0		
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
インドネシア	回答数	3	5	1	2	0	3		
	割合	21.4%	35.7%	7.1%	14.3%	0.0%	21.4%		
③無菌操作の実施									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	4	5	2	1	1	3		・正しくできているか見守り必要 ・すべて把握できてない。日本人新人NSと同等レベル ・感染対策などのマニュアルが熟読出来ないで、指導者の指導は必須となる
	割合	25.0%	31.3%	12.5%	6.3%	6.3%	18.8%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
H23年度	回答数	4	5	2	1	1	2		
	割合	26.7%	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	0		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%		
インドネシア	回答数	3	4	2	1	0	3		
	割合	23.1%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	23.1%		
④医療廃棄物規定に沿った適切な取扱い									
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	3	3	0	0	0	3	・Ba挿入時	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	3	3	0	0	0	3		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	0		
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
インドネシア	回答数	2	2	0	0	0	3		
	割合	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%		

⑤針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	5	4	2	0	1	7	・針刺事故がない為不明。 ・機会が少ないので ・すべて把握できてない。 日本人新人NSと同レベル ・未実施 ・感染対策などのマニュアルが熟読出来ないので、指導者の指導は必須となる
	割合	26.3%	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%	36.8%	
H22年度	回答数	0	0	1	0	0	2	
	割合	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
H23年度	回答数	5	4	1	0	1	5	
	割合	31.3%	25.0%	6.3%	0.0%	6.3%	31.3%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	0	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
インドネシア	回答数	4	3	2	0	0	7	
	割合	25.0%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	43.8%	
⑥洗浄・消毒・滅菌の適切な選択								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	5	5	2	2	1	5	・正しくできているか見守り必要 ・すべて把握できてない。 日本人新人NSと同レベル ・未実施 ・事故なし、説明済み ・感染対策などのマニュアルが熟読出来ないので、指導者の指導は必須となる
	割合	25.0%	25.0%	10.0%	10.0%	5.0%	25.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	5	5	2	2	1	4	
	割合	26.3%	26.3%	10.5%	10.5%	5.3%	21.1%	
フィリピン	回答数	2	1	0	1	1	0	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	3	4	2	1	0	5	
	割合	20.0%	26.7%	13.3%	6.7%	0.0%	33.3%	
(15)安全確保の技術								
①誤薬防止の手順に沿った与薬								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	5	2	0	0	0	2	・リスクに関する考え方も指導は必須 ・準備には携わっていない内服介助はこなっている
	割合	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	5	2	0	0	0	2	
	割合	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	
フィリピン	回答数	2	1	0	0	0	0	
	割合	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	3	1	0	0	0	2	
	割合	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	

②患者誤認防止策の実施								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ②③④共通
全体	回答数	4	2	0	0	0	4	・準備には携わっていない内服介助はこなっている
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	4	2	0	0	0	3	
	割合	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	1	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
インドネシア	回答数	3	1	0	0	0	3	
	割合	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	
③転倒転落防止策の実施								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ②③④共通
全体	回答数	7	5	1	1	0	3	・手洗い介助のみ、未経験 ・リスクに関する考え方も指導は必須
	割合	41.2%	29.4%	5.9%	5.9%	0.0%	17.6%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	7	5	1	1	0	2	
	割合	43.8%	31.3%	6.3%	6.3%	0.0%	12.5%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	0	1	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
インドネシア	回答数	6	4	1	1	0	2	
	割合	42.9%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	
④薬剤・放射線暴露防止策の実施								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	部署では必要とされていない	その他(記述)	その他(記述) ②③④共通
全体	回答数	8	4	2	1	4	7	・抗癌剤はうけもたせてない ・機会がない ・薬剤暴露の知識がない
	割合	30.8%	15.4%	7.7%	3.8%	15.4%	26.9%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
H23年度	回答数	8	4	2	1	3	6	
	割合	33.3%	16.7%	8.3%	4.2%	12.5%	25.0%	
フィリピン	回答数	1	1	0	0	1	1	
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
インドネシア	回答数	7	3	2	1	3	6	
	割合	31.8%	13.6%	9.1%	4.5%	13.6%	27.3%	

表 3.1.3 管理的側面

現時点で到達目標に到達していない要因								
3.管理的側面についての到達目標								
(1)安全管理								
①施設における医療安全管理体制について理解する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ①②③共通	
全体	回答数	19	7	6	6	1	・時間はかかります。	
	割合	48.7%	17.9%	15.4%	15.4%	2.6%		
H22年度	回答数	4	1	1	1	0		
	割合	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%		
H23年度	回答数	15	6	5	5	1		
	割合	46.9%	18.8%	15.6%	15.6%	3.1%		
フィリピン	回答数	4	1	0	3	1		
	割合	44.4%	11.1%	0.0%	33.3%	11.1%		
インドネシア	回答数	15	6	6	3	0		
	割合	50.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%		
②インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	16	7	5	3	3	・日本語を使うことが苦手とし、自らすすんで行うことはない。 ・時間はかかります。 ・口述ではインシデントの報告は受けたが、指導者がいたため、一人では実施させていません。	
	割合	47.1%	20.6%	14.7%	8.8%	8.8%		
H22年度	回答数	2	1	1	0	1		
	割合	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%		
H23年度	回答数	14	6	4	3	2		
	割合	48.3%	20.7%	13.8%	10.3%	6.9%		
フィリピン	回答数	3	1	0	2	1		
	割合	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%		
インドネシア	回答数	13	6	5	1	2		
	割合	48.1%	22.2%	18.5%	3.7%	7.4%		
(2)情報管理								
①施設内の医療情報に関する規定を理解する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)	
全体	回答数	19	5	2	4	1	・細部まで理解は不可	
	割合	61.3%	16.1%	6.5%	12.9%	3.2%		
H22年度	回答数	3	0	0	0	1		
	割合	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
H23年度	回答数	16	5	2	4	0		
	割合	59.3%	18.5%	7.4%	14.8%	0.0%		
フィリピン	回答数	5	1	0	2	0		
	割合	62.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%		
インドネシア	回答数	14	4	2	2	1		
	割合	60.9%	17.4%	8.7%	8.7%	4.3%		

②患者等に対し、適切な情報提供を行う							その他(記述)	その他(記述) ②③④共通	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)			
全体	回答数	24	4	3	4	3	・手術室では、まだキカイ出しのみしかやらせていないため。 ・手洗い介助のみ、未経験 ・受け待ちを患者1名と看護師2名で行っている。依存性があるため		
	割合	63.2%	10.5%	7.9%	10.5%	7.9%			
H22年度	回答数	4	0	0	1	0			
	割合	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%			
H23年度	回答数	20	4	3	3	3			
	割合	60.6%	12.1%	9.1%	9.1%	9.1%			
フィリピン	回答数	6	1	0	1	3			
	割合	54.5%	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%			
インドネシア	回答数	18	3	3	3	0			
	割合	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%			
③プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う								その他(記述)	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)			
全体	回答数	6	3	1	2	1	・時々患者情報を院外に持ち出そうとする。病棟内での取扱はOK		
	割合	46.2%	23.1%	7.7%	15.4%	7.7%			
H22年度	回答数	0	0	0	0	1			
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
H23年度	回答数	6	3	1	2	0			
	割合	50.0%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%			
フィリピン	回答数	1	1	0	1	0			
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%			
インドネシア	回答数	5	2	1	1	1			
	割合	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%			
④看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する								その他(記述)	
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)			
全体	回答数	23	4	1	3	3	・看護記録は書かせていません。 ・手洗い介助のみ、未経験、今後指導予定 ・SOAPの記録は実施していない。		
	割合	67.6%	11.8%	2.9%	8.8%	8.8%			
H22年度	回答数	6	0	0	0	0			
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
H23年度	回答数	17	4	1	3	3			
	割合	60.7%	14.3%	3.6%	10.7%	10.7%			
フィリピン	回答数	3	1	0	1	2			
	割合	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%			
インドネシア	回答数	20	3	1	2	1			
	割合	74.1%	11.1%	3.7%	7.4%	3.7%			

(3)業務管理								
①業務の基準・手順に沿って実施する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)①②③共通	
全体	回答数	9	6	3	4	1		
	割合	39.1%	26.1%	13.0%	17.4%	4.3%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	0		
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
H23年度	回答数	8	6	3	4	1		
	割合	36.4%	27.3%	13.6%	18.2%	4.5%		
フィリピン	回答数	1	1	0	1	0		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%		
インドネシア	回答数	8	5	3	3	1		
	割合	40.0%	25.0%	15.0%	15.0%	5.0%		
②複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	8	5	4	5	2	・タイムマネジメントが苦手、行動が全てゆっくり ・優先順位や報・連・相に関してはまだ知識・経験不足	
	割合	33.3%	20.8%	16.7%	20.8%	8.3%		
H22年度	回答数	0	0	1	0	1		
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	8	5	3	5	1		
	割合	36.4%	22.7%	13.6%	22.7%	4.5%		
フィリピン	回答数	1	1	0	2	0		
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
インドネシア	回答数	7	4	4	3	2		
	割合	35.0%	20.0%	20.0%	15.0%	10.0%		
③業務上の報告・連絡・相談を適切に行う								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)		その他(記述)
全体	回答数	13	3	2	5	4	・1～2年では十分に理解できないと思われる ・スタッフの顔色をみるので相談が遅れる ・報告なし一人で実施することがあった。	
	割合	48.1%	11.1%	7.4%	18.5%	14.8%		
H22年度	回答数	2	0	0	1	2		
	割合	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%		
H23年度	回答数	11	3	2	4	2		
	割合	50.0%	13.6%	9.1%	18.2%	9.1%		
フィリピン	回答数	2	1	0	1	0		
	割合	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%		
インドネシア	回答数	11	2	2	4	4		
	割合	47.8%	8.7%	8.7%	17.4%	17.4%		

④決められた業務を時間内に実施できるように調整する							その他(記述)	その他(記述) ④①②共通
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)		
全体	回答数	8	4	3	3	4	・ほとんど時間内に終了しますが、入院、OPEが重なると、終了しないこともあります。 ・優先順位や報・連・相に関してはまだ知識・経験不足 ・消極的	
	割合	36.4%	18.2%	13.6%	13.6%	18.2%		
H22年度	回答数	1	0	0	0	1		
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	7	4	3	3	3		
	割合	35.0%	20.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
フィリピン	回答数	1	1	0	1	0		
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%		
インドネシア	回答数	7	3	3	2	4		
	割合	36.8%	15.8%	15.8%	10.5%	21.1%		
(4)薬剤等の管理								
①薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)	その他(記述)	・1～2年では十分に理解できないと思われる
全体	回答数	11	4	2	4	10	・研修を受けているが、実施機会がない ・殆ど行う事が無い為。 ・院内のシステムを理解するのが困難 ・3年目以降実施予定 ・請求・受領・保管は新人にはさせていない。 ・実施日数の不足 ・保管は出来る。	
	割合	35.5%	12.9%	6.5%	12.9%	32.3%		
H22年度	回答数	2	1	0	0	5		
	割合	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%		
H23年度	回答数	9	3	2	4	5		
	割合	39.1%	13.0%	8.7%	17.4%	21.7%		
フィリピン	回答数	3	1	0	2	0		
	割合	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%		
インドネシア	回答数	8	3	2	2	10		
	割合	32.0%	12.0%	8.0%	8.0%	40.0%		
②血液製剤を適切に請求・受領・保管する								
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分のため	その他(記述)	その他(記述)	・研修を受けているが、実施機会がない ・殆ど行う事が無い為。 ・院内のシステムを理解するのが困難、できるかもしれないがやらせていない。 ・3年目以降実施予定 ・他の部署で行っている。 ・請求・受領・保管は新人にはさせていない。
全体	回答数	11	5	3	4	9	・研修を受けているが、実施機会がない ・殆ど行う事が無い為。 ・院内のシステムを理解するのが困難、できるかもしれないがやらせていない。 ・3年目以降実施予定 ・他の部署で行っている。 ・請求・受領・保管は新人にはさせていない。	
	割合	34.4%	15.6%	9.4%	12.5%	28.1%		
H22年度	回答数	3	1	1	0	5		
	割合	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%		
H23年度	回答数	8	4	2	4	4		
	割合	36.4%	18.2%	9.1%	18.2%	18.2%		
フィリピン	回答数	3	1	0	2	0		
	割合	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%		
インドネシア	回答数	8	4	3	2	9		
	割合	30.8%	15.4%	11.5%	7.7%	34.6%		

(5) 災害・防災管理							
①定期的な防災訓練に参加し、災害発生時には決められた初期行動を円滑に実施する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	18	4	3	4	7	※右述 ※①記述 ・防災訓練も年に数回あるが限られていた人数のため未参加。 緊急時の避難に十分説明は難しいと思われ、行わせていない。 ・1～2年では十分に理解できないと思われる ・初期対応の基準が理解しづらい(新生児のため特に難しい) ・指導下にある為やらせていない(防災訓練には参加。消火活動(消火器)等、実際に行った。 ・日本人新人NSと同じレベル ・未実施
	割合	50.0%	11.1%	8.3%	11.1%	19.4%	
H22年度	回答数	3	0	0	0	4	
	割合	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	
H23年度	回答数	15	4	3	4	3	
	割合	51.7%	13.8%	10.3%	13.8%	10.3%	
フィリピン	回答数	5	1	0	2	0	
	割合	62.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	13	3	3	2	7	
	割合	46.4%	10.7%	10.7%	7.1%	25.0%	
②施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	24	4	4	4	7	・機会がまだない。 ・～2年では十分に理解できないと思われる ・指導下にある為やらせていない(防災訓練には参加。消火活動(消火器)等、実際に行った。 ・日本人新人NSと同じレベル ・知識不足 ・把握できていないとこもある。
	割合	55.8%	9.3%	9.3%	9.3%	16.3%	
H22年度	回答数	4	0	0	0	3	
	割合	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	
H23年度	回答数	20	4	4	4	4	
	割合	55.6%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	
フィリピン	回答数	4	1	0	1	1	
	割合	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	
インドネシア	回答数	20	3	4	3	6	
	割合	55.6%	8.3%	11.1%	8.3%	16.7%	
(6) 物品管理							
①規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述)
全体	回答数	9	7	3	3	2	・就業後2カ月しか経過していないため ・指導が必要
	割合	37.5%	29.2%	12.5%	12.5%	8.3%	
H22年度	回答数	1	1	0	0	0	
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	8	6	3	3	2	
	割合	36.4%	27.3%	13.6%	13.6%	9.1%	
フィリピン	回答数	2	1	0	1	0	
	割合	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	7	6	3	2	2	
	割合	35.0%	30.0%	15.0%	10.0%	10.0%	

②看護用品・衛生材料の整備・点検を行う							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ②①②共通
全体	回答数	6	4	3	3	3	・就業後2カ月しか経過していないため
	割合	31.6%	21.1%	15.8%	15.8%	15.8%	
H22年度	回答数	1	1	0	0	0	
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
H23年度	回答数	5	3	3	3	3	
	割合	29.4%	17.6%	17.6%	17.6%	17.6%	
フィリピン	回答数	2	1	0	2	0	
	割合	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
インドネシア	回答数	4	3	3	1	3	
	割合	28.6%	21.4%	21.4%	7.1%	21.4%	
(7)コスト管理							
①患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ②①②共通
全体	回答数	6	5	3	3	6	・就業後2カ月しか経過していないため1～2年では十分に理解できないと思われる ・日本人新人NSと同じレベル ・指導下の実施しているため、自分で選択していた ・意識強い
	割合	26.1%	21.7%	13.0%	13.0%	26.1%	
H22年度	回答数	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
H23年度	回答数	6	5	3	3	5	
	割合	27.3%	22.7%	13.6%	13.6%	22.7%	
フィリピン	回答数	1	1	0	1	0	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	
インドネシア	回答数	5	4	3	2	6	
	割合	25.0%	20.0%	15.0%	10.0%	30.0%	
②費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する							
		日本語能力が十分ではないため	母国で学んだあるいは経験した看護と日本の看護が異なるため	母国の看護実務経験では実践してこなかったため	日本の社会・文化に対する理解が不十分なため	その他(記述)	その他(記述) ②①②共通
全体	回答数	7	6	3	4	7	・就業後2カ月しか経過していないため1～2年では十分に理解できないと思われる ・相談せず行動し、無駄にしまうことが多い。コスト意識が低い ・日本人新人NSと同じレベル ・指導下の実施しているため、自分で選択していた ・意識強い
	割合	25.9%	22.2%	11.1%	14.8%	25.9%	
H22年度	回答数	1	1	0	0	2	
	割合	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
H23年度	回答数	6	5	3	4	5	
	割合	26.1%	21.7%	13.0%	17.4%	21.7%	
フィリピン	回答数	1	1	0	1	0	
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	
インドネシア	回答数	6	5	3	3	7	
	割合	25.0%	20.8%	12.5%	12.5%	29.2%	

・指導が必要
・消極的

4. 訪問調査概要

4.1 訪問調査ガイドライン

以下の枠線内は、訪問した看護専門家全員に対し、訪問調査を執り行うに際して保つべき共通意識および手順を示す目的の元、作成・説明をしたものである。

訪問調査ガイドライン(概要)

1. インタビュー手順の確認
インタビューガイドに沿って、インタビュー手順を確認
2. 必要書類・備品
 - a. インタビューガイド
 - b. インタビュー調査の同意説明文書、及び同意書（同意書は一人につき2枚）
 - c. 名刺（調査員としてのものとご自身のもの）
 - d. 録音機器
 - e. 訪問対象者リスト
3. インタビュー調査場所の設定を確認
調査対象者がリラックスでき、かつプライバシーの確保ができる場所でインタビューを行う。机を挟んでお互いに距離がありすぎないようにする。
4. 調査対象者にコンタクト
5. 参加同意の確認
同意説明文書を理解していることを確認しながら、最初から最後まで読み上げる。その後、対象者に読んでもらう。
6. 同意書への署名を依頼
対象者が依頼内容、同意説明文書を理解し、同意の意思を確認したら、2枚の同意書（同じもの）に署名。もしも同意に応じられないという場合は、インタビューを中止。
7. インタビューガイドに沿って面接を進行
同意が得られたら、録音を開始する旨を伝え、録音を開始。インタビューは基本を30分とし、25～45分間で終了。
8. 調査対象者対象者の回答を記録する
会話内容を録音。
要点のメモ。
9. 結果の公表方法・お礼を述べて終了

4.2 看護師インタビューガイド

看護師へのインタビューは、初対面の緊張をほぐす意味で、「日本語能力チェック」を用いて導入の会話を行った後、「インタビューガイド」を用いて行った。

<p>EPA看護師に関する調査 インタビューガイド</p> <p>【日本語能力チェック (5分間)】</p> <p>【質問 1】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊張をほぐす。 ・日本語に関するエピソードを聞き出す。 ・聞き出せた場合は、(3)は質問しなくてもよい。 </div> <p>(1) 「はじめまして、〇〇と申します。」 「初めて会う人と日本語で話すのはどうですか？」 「緊張しますか？」「心配ですか？」「楽しいですか？」</p> <p>(2) 「昨日は、初めての人に会いましたか？」 a. 会った → 「よく話せましたか？」 b. 会わなかった → 「最近初めての人に会いましたか？よく話せましたか？」</p> <p>(3) 「どうして、よく話せた/話せなかったと思いますか？」 「インドネシア/フィリピンにいた時もよく話せた/よく話せませんでしたか？」 「そのときと今とで、何が違いますか？/何が同じですか？」</p> <p>【質問 2】※【質問 1】で既にエピソードを引き出せていれば、質問しない。</p> <p>「あなたは昨日、仕事をしましたか？」 a. した → 「昨日を例に、あなたが仕事の日に朝起きてから寝るまでの様子を話してください」 b. しない → 「では、おとといはしましたか？おとといを例に、あなたが仕事の日に朝起きてから寝るまでの様子を話してください。」</p>

E P A看護師に関する調査 インタビューガイド			
E P A看護師向け			
調査日：西暦 年 月 日			
面談者名： _____			
氏名			
受け入れ施設名			
入国年度		合格年度	
出身国			
<p>[質問 1]</p> <p>「〇〇さん（当該看護師名）の配属先はどこですか？」</p> <p>「どのような仕事をしていますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟か、急患室か、手術室かなど。E P A看護師の背景を探るための質問。 ・答えに影響してくる可能性があるため、日々の仕事のイメージを固めておく。 </div>			
<p>[質問 2]</p> <p>「〇〇さん（当該看護師名）の日本に来る前の看護業務経験について教えてください。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該看護師が日本での看護師経験を語る上で、比較のベースとしているものを把握する。 </div>			
<p>[質問 3]</p> <p>「合格後、看護師として働いている中で、悩んでいることはありますか？」</p> <p>a. あり→「それはどのようなことでしたか？」</p> <p>b. ない→※質問 4へ</p> <p style="padding-left: 20px;">a の問題が既に解決している場合→</p> <p style="padding-left: 40px;">「どのようにして（話に出た）その問題を解決しましたか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">まだその問題が解決していない場合→「どうすればその問題を解決できると思いますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいること具体例を聞く。 ・悩みの要因を探る。 </div>			

<p>「合格後、看護師として働いていて驚いたことはありますか？」</p> <p>a.ある→「それはどのようなことでしたか？」</p> <p>b.ない→※質問5へ</p> <p> a.について、母国での場合との差異に驚いた場合→ 「(話に出た出来事は) インドネシア/フィリピンではどのように行われますか？」</p> <p> a.について、日本特有のもので、母国にはなく、驚いた場合→ 「そういったことはインドネシア/フィリピンにはないのですね。」</p>
<p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 驚いたこと具体例を聞く。 ・ 驚いたこと要因を探る。
<p>【質問5】</p> <p>「合格後、看護師として働いていて、現場の中でどう対処したらいいかわからず困ってしまったことはありますか？」</p> <p>a.ある→「それはどのようなことでしたか？」</p> <p>b.ない→※それでもなければ質問6へ</p> <p> a.について、母国での場合との差異に困った場合→ 「(話に出た出来事は) インドネシア/フィリピンではどのように行われますか？」</p> <p> a.について、日本特有のもので、母国にはなく、困った場合→ 「そういったことはインドネシア/フィリピンにはないのですね。」</p>
<p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困ったこと具体例を聞く。 ・ 困ったこと要因を探る。 ・ 困ったことは、日本人看護師でも困るような内容でもよいが、その場合は掘り下げて聞かない。
<p>【質問6】</p> <p>「今(合格し、看護師として就労している状態において)、病院では〇〇さんのために、他の新人の日本人看護師とは違う支援がありますか？」</p> <p>a.ある→「それについてどう感じますか？」</p> <p>b.ない→「以前は行われていましたか？」</p> <p> a.行われていた→「それについてどう感じていましたか？」</p> <p> b.行われていない→質問7へ</p>
<p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在病院が行っている支援の有無、内容を合格者から直接聞き出す。 ・ 日本人看護師には提供していない、EPA看護師に対する特別な支援について聞く。

[質問 7]

「今（合格し、看護師として就労している状態において）、あったらいいと思う病院からの支援はありますか？教えてください。」

<留意点、ねらい>

- ・今合格者が施設に必要としていることを聞き出す。

[質問 8]

「そのほか、あったらいいと思う合格後の支援はどんなことですか？」

<留意点、ねらい >

- ・NPO、地域、地方自治体、国、国際厚生事業団などを想定した支援などどのような支援でも構わないので幅広く聴取。

[質問 9]

「日本で今の仕事について良かったと思うことがあったら教えてください。」

<留意点、ねらい>

- ・問題点の確認を一通り終え、良かったことについて振り返る。

以上で質問を終わりにします。有難うございました。

<予備質問>以下の質問は、時間に余裕があったら聞いてください。

[質問 1]

「(合格後のことを見据えて) 候補者（看護補助者として就業する合格前の者）のころからあったらいいと思う支援はどんなことですか？」

<留意点、ねらい >

- ・NPO、地域、地方自治体、国、国際厚生事業団などを想定した支援などどのような支援でも構わないので幅広く聴取。
- ・合格後ではなくてはならない支援と、候補者の時から行える支援について聞き出すための質問。

4.3 指導者インタビューガイド

指導者へのインタビューでは、以下の「インタビューガイド」を用いて行った。

EPA看護師に関する調査 インタビューガイド	
教育指導看護師向け	
調査日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
面談者名： _____	
受け入れ施設名	
氏名	
看護師経験年数	
<p>【質問 1】</p> <p>「いま〇〇さん(指導者名)はどのようなお立場で●●さん (EPA 看護師名) と関わっていらっしゃいますか？ (具体的な期間、関わりの頻度、内容をお話ししてもらおう。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPA看護師との関係性を明らかにする。 Ex/候補者時代から指導を行っていたのか、それとも合格後から関わっているのか。 どの程度、EPA看護師とかかわっているのか。 毎日細かく指導しているのか、悩みがあった時だけ相談に応じるのか、など。 </div>	
<p>【質問 2】</p> <p>「合格後のEPA看護師の指導をするにあたり、悩んでいることはありますか？」</p> <p>a.ある→「それはどのようなことですか？」</p> <p>b.ない→「以前、悩んでいたことはありますか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">aについて、既にその悩みが解決している場合→</p> <p style="padding-left: 40px;">「どのようにして(話に出た)その悩みを解決しましたか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">aについて、まだその悩みが解決していない場合→</p> <p style="padding-left: 40px;">「どうすればその悩みを解決できる気がしますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者がここで表出する悩みは、日本人看護師の指導に関する悩みと共通する内容でも構いません。 </div>	
<p>【質問 3】</p> <p>「当該看護師の指導場面で日本人との違いを感じて困ったことは有りますか？」</p> <p>a.ある→「それはどのようなことですか？」</p> <p>b.ない→※質問 4へ</p> <p style="padding-left: 20px;">aについて、問題(困ったこと)が既に解決しているような場合→</p> <p style="padding-left: 40px;">「どのようにして(話に出た)その問題(困ったこと)を解決しましたか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">aについて、まだその問題(困ったこと)が解決していない場合→</p> <p style="padding-left: 40px;">「どうすればその問題(困ったこと)を解決できる気がしますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><留意点、ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人看護師を指導する場合と違ったEPA看護師特有の問題を把握する。 </div>	

「●●さん（EPA 看護師名）から、『日本の看護とインドネシア/フィリピンの看護は違う』といわれたことはありますか」

a.ある→「どのようなことでしたか？」

b.ない→※質問5へ

<留意点、ねらい>

- ・インドネシア/フィリピンと日本の看護業務範囲、看護観、看護教育を受けてきた背景の違いなどからくる指導者及びEPA 看護師のとまどいや問題点を把握する。

[質問5]

「その他、指導の際に、驚いたことや困ったこと、印象に残っていることはありますか？」

a.ある→「どのようなことですか？」

b.ない→※質問6へ

<留意点、ねらい>

- ・比較的抽象的な質問をすることで、幅広い観点からの現状把握をする。

[質問6]

「●●さん（EPA 看護師名）への指導や支援において、他の日本人看護師に対して行っているものと違うところがあれば教えてください。」

a.ある→「どのようなことですか？」

b.ない→※質問7へ

<留意点、ねらい>

- ・EPA 看護師には日本人看護師とは異なる指導や支援が必要であるか否かの現状を把握する。
- ・当該支援が必要である理由が質問1から5の回答内で明らかになっていなければ、支援が必要であると判断した理由やきっかけを更に聞く。

[質問7]

「その他、〇〇さん(指導者名)以外の現場の医療関係者の方から、●●さん（EPA 看護師名）への指導や支援において、何らかの困難を耳にしたことはありますか。」

<留意点、ねらい>

- ・直接的な指導者だけでなく、その他の看護師や医師など、院内の医療関係者全体の考えを聞くため。

[質問 8]

「合格した EPA 看護師に対する合格後の支援プログラムにはどのようなものがあつたら良いと思えますか。」

<留意点、ねらい>

- ・病院が独自に提供することを想定した支援、あるいは NPO、地域、地方自治体、国、国際厚生事業団などを想定した支援、どのような支援でも構わないので、幅広く聴取。

[質問 9]

「合格後の EPA 看護師の指導者に対する支援であつたら良いと思う支援はありますか。」

<留意点、ねらい>

- ・指導者への支援についての要望を聴取。

[質問 10]

「では最後に、受入れを行つてよかつたと思うことがありましたら、教えてください。」

<留意点、ねらい>

- ・問題点の確認を一通り終え、良かつた点についての振り返り。

以上で質問を終わりにします。有難うございました。

<予備質問>以下の質問は、時間に余裕があつたら聞いてください。

[質問 1]

「(合格後を見据えた) 候補者 (看護補助者として就業する合格前の者) に対する教育支援プログラムには、どのようなものがあつたら良いと思えますか？」

<留意点、ねらい>

- ・合格後からのかかわりである教育指導者の場合は聞く必要はありません。

[質問 2]

「候補者を指導されているとき、指導者に対しては、どのような支援が欲しかつたですか。」

<留意点、ねらい>

- ・合格後からのかかわりである教育指導者の場合は聞く必要はありません。
- ・合格後に指導者に対して必要な支援のなかに、候補者を指導する際に行えるものはないか探るため。